

附セシメ其受領証ヲ徴シ仍ホ當廳ヲ經テ之ヲ該監督部へ送附スルモノトス  
 第二十條 借上馬匹ノ賃金ハ馬匹返付ノ后前條ノ手續ニ依リ下附スルモノトス  
 第二十一條 區長及戶長ニ於テ第十三條ニ據リ馬主ニ支給スヘキ旅費日當ハ左ノ定額ニ據ルヘキ者トス  
 第一 馬匹牽行ノ節往路ハ一日八里詰歸路ハ一日十里詰ヲ以テ日當金拾四錢ヲ支給ス以上ノ端里數往路ハ四里以上歸路ハ五里以上ニ及ブキハ日當ノ半額ヲ増給ス但歸路若シ馬匹牽行スルコトアルキハ總テ往路ニ準ス  
 第二 近傍往返八里未滿ハ日當ヲ給セス八里以上十里未滿ハ日當ノ半額十里以上十里未滿ハ日當一日分ヲ支給ス  
 第三 借上馬匹受取ノ爲メ出場スルル往路一日十里詰歸路一日八里詰ヲ以テ前二項ニ據リ日當ヲ支給ス  
 第四 馬匹ハ片道九里未滿ハ日當ヲ給セス九里ニ及ブキハ日當金拾五錢ヲ支給ス以上ノ里數ハ八里毎ニ日當一日分ヲ支給ス  
 但官ノ都合ニ據リ(指定ノ場所ニ牽行ノ上)不用トナリタルルキハ往路十里以上十里未滿ハ一日分ノ日當ヲ支給ス  
 第五 官ノ都合ニ依リ滞在ヲ命スルルキハ人馬共第一項第四項ノ日當ヲ支給ス  
 附錄第一號 用紙美濃紙

明治何年何月編製  
 馬 籍  
 何郡(區)役所  
 (何戶長役場)

產地名(又ハ產地不詳)

牝 (牡) 馬  
 年 齡

番 號	主 種	役 種	身 格	性 質	毛 色	原 價	屬 具	事 故	差 出 所 距 離
	何郡區町村	乘馬 (駕馬) (馱馬) (耕馬)	何尺 何寸	並 (肥) (瘠)	剛強 (柔順) (猛悍) (驚鈍)	青 (白) (栗毛) (何々)	何拾何圓	完備(又ハ何々不足)	何年何月幾何年何月前左右足負傷馳驅ニ妨ケアリ
	族職業	何	某						



合 計									
考 備	駄馬ノ區畫ニハ耕馬モ算入スヘキ者トス 附録第五號	明 治 何 年 何 月 何 日 調	馬 匹 徵 集 日 當 概 算 表	何 郡 (區) 役 所	何 郡 區 役 所	何 郡 區 役 所	何 郡 區 役 所	何 郡 區 役 所	何 郡 區 役 所
考 備	○旅費日當ハ郡區中最遠ノ町村ヲ以テ積算スルモノトス○馬匹日當ハ片道率行人旅費 ハ往返共テ積算スルモノトス 附録第六號	何 郡 區 役 所 々 在 地 ヲ リ 大 阪 練 兵 場 迄 里 程	馬 匹 員 數 率 行 人 員	馬 匹 日 當 率 行 人 旅 費 合	金 何 圓 何 拾 何 錢	金 何 圓 何 拾 何 錢	金 何 圓 何 拾 何 錢	金 何 圓 何 拾 何 錢	金 何 圓 何 拾 何 錢
考 備		何 十 何 里 何 頭 何 人	何 頭 何 人	何 頭 何 人	何 錢	何 錢	何 錢	何 錢	何 錢
考 備									
馬 主 名 簿									

兵庫縣何國何郡(區)何町(村) 族職業 何 某 年 齡 某									
距大阪練兵場何里何町									
馬 匹 名 簿									
產 所 年 齡 寸 尺 毛 色 原 價 乘 駕 駄 馬 番 號									
右乘(駕)(駄)馬輓具車輛(駄鞍)屬具ヲ添ヘ何年何月何日何時大阪練兵場ニ向ケ出發致候也									
右相違無之候也									
區長(戶長)									
明治 年 月 日 時									
馬匹名簿中ノ番號ハ區役所又ハ戶長役場部内毎ニ付スル者トス									
●兵庫縣訓令第四百四號(兵) 明治廿一年七月十四日 郡區役所									
客年第二次徵兵現役輜重輸卒左記之通來ル八月一日午前第九時第四師團輜重兵第四大									

隊エ入營申付候條達方取計フヘシ  
但シ附添之義ハ陸軍徵兵事務取扱手續第二十三項ニ依リ不都合無之様取計ヘシ

一現役輜重輸卒

記  
二十三名

但第三十二番第四十六番ヨリ第六十七番迄

●兵庫縣訓令第百五號(兵) 明治廿一年七月十四日 郡區役所 戶長役場

明治十九年(五月)當縣乙第九十一號達ヲ廢止ス

○參照

十九年乙第九十一號ハ軍籍ニ在ルモノ犯罪處分ヲ受タル片屆出方

●兵庫縣訓令第百六號(兵) 明治廿一年七月十四日 郡區役所 戶長役場

明治十九年(六月)當縣乙第百七號達ヲ廢止ス

○參照

十九年乙第百七號ハ軍籍ニ在ル者賭博犯ノ處分ヲ受タル片屆出方

●兵庫縣訓令第百八號(兵) 明治廿一年七月廿日 郡區役所 戶長役場

勳章ヲ有スル者左ノ項目ニ觸ルノトキ區長及ヒ戶長(戶長ハ郡役所ヲ經)ハ其狀況ヲ具

シ速ニ届出ヘシ

一重罪輕罪ノ罪ヲ犯シ勳章ヲ褫奪セラレタルトキ

二賭博犯ノ處分ヲ受ケタルトキ

三懲戒例及免黜條例ニヨリ免官セラレタルトキ

四素行修マラス帶勳者タルノ面目ヲ汚ストキ

●兵庫縣訓令第百十二號(兵) 明治廿一年八月一日 郡區役所 戶長役場

今般陸軍省令第十五號ヲ以テ豫備役后備軍驅員兵員並ニ歸休兵召集旅費支給概則改定ニ付テハ明治二十年一月當縣訓令第十六號本年十一月九日限り廢止ス

●兵庫縣訓令第百二十四號(兵) 明治廿一年九月一日 郡區役所 戶長役場

當縣本年徵兵抽籤日割并ニ場所等之ノ通ニ候條抽籤總代人ハ其前日同場出頭方取計フヘシ

抽籤場神戸下山手通四丁目縣會議事堂抽籤日割九月(廿八日、廿九日)二日間 郡區役所

●兵庫縣訓令第百三十八號(兵) 明治廿一年十一月二日

本年近衛現役諸兵左記之通來ル十二月一日入營セシメ候條本月廿五日午後第一時當廳ヘ出頭セシムヘシ  
但當廳迄ハ單行セシメ當廳ヨリ引纏メ入營之義ト心得ヘシ

一 近衛現役歩兵	記	自第一至第五十九番	五十九人
一 同 騎兵		自第一至第五番	五人
一 同 砲兵		自第一至第五番	五人
一 同 工兵		自第一至第三番	三人
以上			

●兵庫縣訓令第四百拾號(兵) 明治廿一年十一月十三日 郡區役所

本年徵兵師團現役諸兵(看護卒ヲ除ク)左記之通來ル十二月一日(騎兵ハ同三日午后第一時)午前第九時入營セシメ候條達方取計フヘシ  
但附添人ノ義ハ陸軍徵兵事務取扱手續第廿三項ニ據リ取計フヘシ

一 姫路

步兵第十聯隊

現役歩兵

百九十七名

内

加東郡(十名)

多可郡(十六名)

加西郡(八名)

印南郡(十九名)

- 飾東郡(廿五名) 飾西郡(三名) 神東郡(十二名) 神西郡(四名)
- 揖東郡(十八名) 揖西郡(八名) 赤穂郡(廿名) 佐用郡(五名)
- 宍粟郡(八名) 出石郡(十三名) 氣多郡(十八名)
- 養父郡(十三名ノ内第三百七十三番第三百八十四番、第三百九十二番ノ三名ヲ除キ外十名)

一大阪

步兵第廿聯隊

現役歩兵

貳百六十五名

内

- 神戸區(卅壹名) 八部郡(七名) 武庫郡(十二名) 菟原郡(十五名)
- 川邊郡(廿壹名) 有馬郡(十一名) 美濃郡(十五名) 明石郡(廿三名)
- 加古郡(十四名) 城崎郡(八名) 美含郡(十五名) 朝來郡(二名)
- 七美郡(三名) 二方郡(九名) 氷上郡(十四名) 多紀郡(十一名)
- 津名郡(廿七名) 三原郡(廿四名) 養父郡(第三百七十三番、第三百八十四番、第三百九十二番ノ三名)

一大阪

砲兵第四聯隊

現役砲兵

四十名

一大阪

輜重兵第四大隊

但第壹報ヨリ第三十九番迄及第三十一番原甚三郎共

現役輜重兵 廿三名

但第一番ヨリ第廿三番迄

現役輜重輸卒 三十壹名

但第一番ヨリ第三十一番迄

工兵第二大隊ハ

現役工兵 二十八名

但第一番ヨリ第廿九番迄(内十七番ヲ除ク)

一大阪

現役騎兵 十五名

但第一番ヨリ第十五番迄

以上

●兵庫縣訓令第四百一十一號(兵) 明治廿一年十一月十七日

郡役所

本年徵集海軍現役水兵并ニ火夫別記之通横須賀鎮守府へ入營セシメ候條來ル十二月四日午後第一時迄ニ當廳へ出頭候様達方取計ヘシ但當廳迄ハ單行セシメ當廳ヨリ引廻メ入營之義ト心得ヘシ

一海軍現役水兵

自第一番至第十番 十六名

一同 火夫

自第一番至第六番 六名

●兵庫縣告示第七號(兵) 明治廿一年一月十三日

徵兵令第三十七條ニ據リ寄留地ニ於テ徵集ニ應スル者ノ中徵集猶豫ニ屬スル者取扱方左之通定メラル

一徵兵令第十八條第五項第六項第八項及ヒ第九項ニ當リ徵集猶豫ノ者依然寄留地ニ在ルトキハ徵否處分濟迄寄留地府縣ノ管理ニ屬ス

一徵兵令第十七條第十八條第二項乃至第四項第七項第十九條及ヒ第二十一條ニ當リ徵集猶豫ニ屬スル者ハ寄留地府縣ノ名簿ヲ刪リ原籍府縣ノ相當名簿ニ登記スルモノトス

●兵庫縣告示第十九號(兵) 明治廿一年二月四日

本年五月海軍兵學校生徒五十名召募相成候條明治元年六月一日以後同五年四月三十日以前出生ニテ志願之者ハ華士族平民ヲ論セス來ル四月三十日限り左ノ書式及心得書ニ據リ願書ニ誕辰證書并ニ履歷書ヲ添ヘ東京府ヲ經テ該校へ差出スヘシ但東京府下ニ住居ノ父兄規族或ハ其他一家ヲ成ス者二名身元引受人ニ立ツヘシ尤其一名ハ地所家屋ヲ有スル者ニ限ル

願書式 用紙美濃紙ニツ折正副

海軍兵學校生徒願  
何府縣華士族平民  
戸主或ハ何某男又ハ伯叔甥附籍  
何府縣何國何郡區何町村何番地住或  
ハ寄留

右之者海軍出身志願ニ付御檢査ノ上兵學  
校生徒ニ御採用相成候様致度誕辰證書并  
ニ履歷書相添此段奉願候也  
年號月日

何府縣華士族平民  
東京府何郡區何町村何番地住  
身元引受人 姓 名 印  
同 姓 名 印  
海軍兵學校長官姓名殿 姓 名 印

折返シ  
裏  
前文願之趣相違無之候條御試檢之上御採  
用有之度候也  
年號月日 東京府知事姓名印

誕辰證書式 用紙美濃紙ニツ折

誕辰證書

何府縣華士族平民 姓 名  
何府縣何國何郡區何町村ニ於テ何年何  
月何日生  
右之通相違無之候也  
年號月日  
身元引受人 姓 名 印  
同 姓 名 印  
前書保證候也  
何府縣何郡區何町村  
年號月日 本籍ノ區戸 區戸長 姓 名 印  
長ニ限ル

履歷書式 用紙美濃紙ニツ折

履歷書

何府縣華士族平民 姓 名  
一 生長ノ地名  
一 教育ヲ受タル學科年月校塾師名等  
一 職業技藝等アレハ之ヲ記ス  
一 官廳會社等ノ職務ニ從事シタル者  
ハ之ヲ記ス  
一 賞罰等ヲ受ケタル者ハ之ヲ記ス  
右之通相違無之候也  
年號月日  
身元引受人 姓 名 印  
同 姓 名 印

心得書

一 志願者身体檢査學科試驗合格ノ者ヨリ撰ヒテ入校ヲ許サレ入校ノ日ヨリ衣食并ニ稽  
古用諸具等悉皆官費ヲ以テ給與セラル

一右入校ヲ許サレハ其身元引受人ヨリ引受證書并ニ族籍證書ヲ出サシメ本人ヨリハ  
誓書ヲ出サシム

但シ證書式ハ此ニ畧ス

一第一身体ノ検査

但シ不合格ノ者ハ學科試験ヲ受ルヲ得ス

一第二試験ノ科目左ノ如シ

○漢文

史類 句讀訓點 作文 尺牘遊記論文

○數學

平算 代數

四術ヨリ多元二次方程式ニ至ル其外開法自乘法指  
數法不盡根數比比例

○英文

文法 和文英譯 英文和譯 書取 會話

●兵庫縣告示第二十三號(兵) 明治二十一年二月十六日

本月二十五日ヨリ定例之通豫備役及ヒ後備兵點呼並ニ現役輜重輸卒(未入營者)讀法式  
施行セラル

●兵庫縣告示第三十四號(兵) 明治二十一年三月九日

明治十四年(五月)當縣甲第七十二號布達陸軍下士文官志願手續并ニ附錄廢止ス

●兵庫縣告示第三十五號(兵) 明治二十一年三月十四日

今般陸軍教導團各兵科生徒並ニ喇嘛生徒召募相成候條本月一日陸軍省告示第四號該生  
徒入學檢査格例及志願者心得ニ依リ志願ノ者ハ來ル六月廿日迄ニ願書三通當廳へ差出  
スヘシ

●兵庫縣告示第五十六號(兵) 明治二十一年五月三日  
遞信省所轄函館商船學校生徒ノ儀ハ徵兵令第十八條第四項海軍生徒ニ準シ徵集ヲ猶豫  
セラル

●兵庫縣告示第六十六號(兵) 明治二十一年五月二十九日  
本年勅令第二十九號大隊區司令部條例第九條ニ據リ監視區所在地及其區域等當縣下ニ  
係ル分左ノ通定メヨル

大 隊 區 監 視 區		川 邊 郡	
神戸區	大坂府西成郡	川 邊 郡	有馬郡 明石郡
神戸區	曾根崎	美 濃 郡	武庫郡
神戸區	神 戶	美 濃 郡	加古郡
津名郡	神 戶	淡路國一圓	武庫郡
洲 本	洲 本	加東郡	有馬郡
飾東郡	飾東郡	多可郡	武庫郡
姫 路	姫 路	神西郡	有馬郡
姫 路	姫 路	加西郡	明石郡
三日月	三日月	印南郡	有馬郡
		飾東郡	明石郡
		飾西郡	明石郡
		赤穂郡	明石郡
		佐用郡	明石郡
		宍粟郡	明石郡



京都府與謝郡	城崎郡	但馬國一圓
宮津	豐岡	
京都府船井郡	園部	多紀郡
		水上郡

●兵庫縣告示第六十九號(兵) 明治廿一年五月卅一日

本年(三月)勅令第十七號陸軍各兵科現役下士補充條例第八條ニ據リ現役免除ヲ願フ者其事故父兄ノ死亡處刑若クハ失踪等ハ戸長(區ハ區長)ノ證明書癘疾不具等ハ醫師ノ診斷書ヲ其親族ヨリ本人へ送付スヘシ

●兵庫縣告示第七十三號(兵) 明治廿一年六月二日

海軍歸休兵及豫備兵後備兵之結婚願書ハ直ニ鎮守府司令長官ニ差出スヘシ

●兵庫縣告示第九十四號(兵) 明治廿一年八月十一日

歸休兵并ニ豫備役兵員(近衛歸休兵及豫備役兵員ヲ合ス)來十月三十日ヨリ三週間演習召集セラル

但參集期日ハ十月三十日午前第八時參集場所大阪及姫路大津ハ各練兵場伏見ハ同地兵營内トス

●兵庫縣告示第百八號(兵) 明治廿一年十月三日

明治十七年(四月)當縣戊第五十六號達陸軍下士服役規則第十四條ニ依リ現役免除ヲ願フ者ハ本年五月當縣告示第六十九號ノ手續ヲ爲シ本人ヨリ所管長官へ出願スヘシ

●兵庫縣告示第百十五號(兵) 明治廿一年十月廿日

本月陸軍省告示第十五號ヲ以明治廿二年陸軍各兵科現役士官候補生及幼年學校生徒召募相成候條志願ノ者ハ右檢査格例同志願者心得並取扱手續ニ據リ明治廿二年一月十日迄ニ願書ニ適當應エ差出スヘシ

警察

●兵庫縣令第七十五號(勸) 明治十一年五月廿三日

明治十年(二月)縣令第三十一號本縣違警罪目十四項左之通改正ス

十四 免許ヲ得サル牡牛馬ヲ種用ニ供シ又ハ種牡牛馬取締規則第五條ニ違背シタル者

神戸區

●兵庫縣令第七十九號(二) 明治十一年六月五日

港内舩船營業取締規則並附則別紙之通相定メ本年七月一日ヨリ施行ス

但明治十四年(十二月)丙第四十三號布達港内通船取締規則及全年(全年)丙第四十

四號布達港内舩船客船營業取締規則ハ本令實施ノ日ヨリ廢止ス

(廿二年縣令第五百五十三號ヲ以テ第九條第十條第十九條及第廿二條以下本文ノ通改正追加)

港内舩船營業取締規則

第一章 通則

第一條 舩船ヲ分テ第一類第二類ノ二種トス

一 第一類トハ神戸兵庫ノ兩港ニ繫泊スル諸舩船ニ船客ヲ送迎スル小廻船ヲ云フ

二 第二類トハ同上舩船ニ貨物ヲ積入及陸揚スル小廻船ヲ云フ

第二條 前條ノ營業ヲ爲サントスルモノハ種類及其舩ノ定繫港名ヲ記載シ所轄警察署

ニ願出許可ヲ受クヘシ

第三條 營業ニ關スル願届ニハ取締人ノ加印ヲ要ス

第四條 左ノ事項ニ觸ル、モノハ營業者タルヲ得ス

但第二項ニ觸ル、モノト雖モ犯罪ノ情狀ト爾后ノ行跡トニ依リ特ニ許可ヲ與フル

トアルヘシ

一 未丁年者ニシテ後見人又白痴瘋癲者ニシテ管理人ナキ者

二 強窃盜詐僞取財ノ罪ヲ犯シタル者

第五條 營業者船夫ヲ雇入ル、モ、其族籍氏名年齢ヲ所轄警察署ニ届出船夫一人ニ付

鑑札一個ヲ受クヘシ

第六條 營業者自ラ船夫ノ業ヲ爲スモ、其總テ船夫ノ例ニ從フヘシ

第七條 港内ニ於テ船客及貨物ノ運漕ニ差支ナシト認ムルモ、其時宜ニ依リ營業者又ハ

解船ノ數ヲ制限スルヲアルヘシ

第八條 后見人又ハ管理人死亡或ハ辭任シタル場合ニ於テ二十日以内ニ更ニ后見人若

クハ管理人ヲ立テサルモ、其營業免許ノ効ヲ失フヘシ

第九條 船夫ノ鑑札ハ毎年一回(三月或ハ四月指定スル日時)所轄警察署ノ検査ヲ受ク

ヘシ其検査ヲ受ケサル鑑札ハ無効タルヘシ

第十條 船体ハ毎年一回(三月或ハ四月指定スル日時)所轄警察署ノ検査ヲ受ケ其証ヲ

受クヘシ其新造改造又ハ買受讓受ヲ爲シ若クハ新規營業ノ許可ヲ受ケタルモ、其定期ニ拘ラス検査ヲ受クヘシ

但他ノ規則ニ依リ船体検査ヲ受クルモノハ此限ニアラス

第十一條 前條検査ヲ受ケサル船ハ使用スルヲ得ス

第十二條 左ノ場合ニ於テハ五日以内ニ所轄警察署ニ届出全時ニ検査証鑑札ヲ返納シ

又ハ書換或ハ再渡ヲ請フヘシ

一 廢業又ハ解船ヲ賣渡讓渡若クハ廢船シタル時

二 族籍氏名ヲ改メ又ハ轉居シタル時

三 検査証鑑札ヲ遺失毀損シ又ハ其文字不分明ニ至リタル時

四 船夫ヲ解雇シ又ハ其失踪若クハ死亡シタル時

第十三條 検査証鑑札標旗ハ之ヲ貸與スヘカラス

第十四條 検査証ハ船ノ内部見易キ箇所ニ釘付スヘシ

第十五條 検査証アル船ト雖モ第十八條ノ制限ニ適セス又ハ破損ヲ生シ危險ト認ムル

モ、其一時其使用ヲ差止ムヘシ

第十六條 營業者ハ左ノ雛形ニ倣ヒ標旗ヲ調製シ所轄警察署ノ檢印ヲ受クヘシ

但標旗ニ記載スル文字ハ第一類營業船ハ赤色又第二類營業船ハ黑色ヲ用フヘキモ

ノトス

一尺一寸

表

番號	船	解
營業者	何	某

裏

定 繫 場 名

地質白雲齋番號ハ檢査証ト

同一ノ號ヲ記スヘシ

第十七條

船夫ノ寄場ヲ設ケントスルハ所轄警察署ニ届出認可ヲ受クヘシ  
第二章 船体構造及船夫ノ資格

第十八條

船体ハ堅牢ニシテ其構造ハ左ノ制限ニ從フヘシ

- 一 長サ(船艙各船張木ノ間ヲ云)二間以上中央幅員四尺以上ニ限ルヘキモノトス
- 二 重量吃水線ヲ劃スヘキモノトス

第十九條

船夫ハ年齢十八年以上ニシテ身体強壯ナルモノニ限ルヘシ

但炊事專業トシテ使役スルモノハ此限ニアラズ

第二十條

前條ニ適合スト難ク第四條二項ニ觸ル、モノハ亦船夫タルヲ得ス  
第三章 就業制限

第二十一條

神戸港ニ於テ貨物積入陸揚スルハ第一第二第三第四波止場又船客ハ第三波止場ニ限ルヘシ

但外國人及雇人ハ第二波止場ニ於テスルヲ得ヘシ

第二十二條

凡ソ取扱貨物中外國輸出入ニ係ルモノハ其依頼主ノ誰タルト物件ノ何タルトヲ問ハス税關監吏ノ點檢ヲ受クルニアラサレハ船積又ハ陸揚スルヲ許サス

第二十三條

第一類營業船ハ其船定繫港外ニ出テ常働ヲ爲スヲ許サスト雖船客ノ便宜ニヨリ特ニ依頼ヲ受ケ單ニ(定繫港外ニ)到達スルハ妨ケナシ

但神戸港繫泊ノ外國船又ハ外國航行ノ内國船ニ係ル船客ノ上陸乗船ハ第二十一條ノ規定シタル場所ノ外他ニ於テ爲スヲ許サス

第二十四條

外國船及内國航行ノ内國船ニ係ル就業時間ハ日出ヨリ日没迄ニ限ルヘシ若シ日没迄ニ陸揚スル能ハス其殘貨物ヲ搭載セル者ハ税關監吏ノ指定スル場所ニ繫泊スヘシ

但税關ノ特許ヲ得テ就業スルモノハ此限ニアラス

第二十五條

兵庫港ヨリ回漕ノ貨物ヲ神戸港繫泊ノ外國船又ハ外國航行ノ内國船ニ積移ス

シ若クハ該船舶ノ搭載セル貨物ヲ神戸港外ニ回漕セントスルハ其届書ヲ神戸税關監視課ヘ差出シ認許ノ証ヲ受ケ回漕中之ヲ所持スヘシ其認許外ノ貨物ハ混同搭載スルヲ許サス

第二十六條

前條ノ貨物ヲ大坂港ニ回漕スルハ全港税關ノ點檢ヲ經テ陸揚スヘシ決シテ途中ニ於テ陸揚或ハ他船ニ積移スヘカラス若シ天災等非常ノ場合ニ於テ途中他船

へ積移シ又ハ陸揚シタル片ハ神戸若クハ大坂税關へ其旨届出ヘシ  
第廿七條 船夫ハ必ス取締規則及鑑札ヲ所持シ且ツ標旗ハ其船ノ舳艦見易キ所ニ掲ク  
ヘシ

第廿八條 海上衝突豫防規則ニ該當スル燈籠ヲ備ヘ置キ夜中ハ必ス點火スヘシ

第廿九條 航路ヲ壅塞スヘキ場所ニ舢舨ヲ繫留シ他船ノ運航ヲ妨クヘカラス

第三十條 本船ニ到ル片ハ總テ該船乗組員ノ指圖ニ從ヒ且ツ先着ノモノヨリ順次揚卸  
ヲ爲スハ勿論濫リニ之ニ近寄り或ハ錨綱等ニ繫船スヘカラス

第三十一條 石油燐寸硫酸硫磺樟腦等火災ノ生シ易キ物品ヲ搭載シタル片ハ成規アル  
燈火ノ外一切火ヲ取扱フコトヲ許サス

第三十二條 船客又ハ貨物乗載中ハ船夫故ナク其船ヲ離ルヘカラス

第三十三條 船客ニ對シ叮嚀親切ナルヘキハ勿論老幼婦女上陸乗船ノ際ハ一層懇篤ニ  
保護スヘシ

第四章 賃錢及乗載制限

第三十四條 賃錢定額ハ之ヲ判明ニ記載シ船夫寄場及船内見易キ箇所ニ表示スヘシ

第三十五條 何等ノ名義ヲ以テスルモ定額外ノ金錢ヲ請求スヘカラス

第三十六條 第一類營業船ニシテ貨物又第二類營業船ニシテ船客ヲ乗載スルヲ許サス  
但第一類營業船ニ客ノ手廻リ品ヲ積載セ又第二類營業船ニ荷主ヲ上乘セシムルハ

妨ケナシ

第三十七條 船ノ脚入ハ吃水線ヲ超ユヘカラスアルハ勿論船客乗載ハ拾名ヲ以テ限リト  
シ以上超過スヘカラス  
但十年未滿ノ者ハ二人ヲ以テ一人ト見做シ三年未滿ノ者ハ算外トス

第三十八條 前條ニ制限スルト雖モ船体ノ摸樣ニ據リ特ニ所轄警察署ノ認許ヲ得テ十  
名以上ヲ乗載スルコトヲ得尤モ此場合ニ於テハ其特許ヲ得タル員數ヲ木札ニ記シ船  
内見易キケ所へ掲ケ置クヘシ

第五章 組合

第三十九條 營業者合シテ一ノ組合ヲ設ケ取締所及正副取締人ヲ置クヘシ

但營業上ノ便否ニ據リ二種營業毎ニ組合ヲ設クルモ妨ケナシ

第四十條 取締人ノ撰任取締所ノ位置ハ所轄警察署ノ認可ヲ受クヘシ

但取締人其任ニ適セス又ハ不正ノ所爲アリト認ムル片ハ之ヲ改選セシムヘシ

第四十一條 組合ハ左ノ事項ヲ規約シ所轄警察署ノ認可ヲ受クヘシ其改正ヲ要スル片  
亦同シ

- 一 組合費用及取締人手當等収支方法
- 二 貨物取扱方法并其責任
- 三 賃錢定額

四 船夫雇入方法及其給金額

前諸項ノ外營業上必要ノ件

第四十二條 營業者ハ組合費用及取締人手當等ヲ負擔スヘシ

第四十三條 組合營業者ニシテ左ノ資格ニ適合スルニアラサレハ取締人タルヲ得ス

一 年齡二十五年以上ニシテ神戸區内ニ土地又ハ家屋ヲ所有スルモノ

二 營業上ニ關スル諸規則ヲ解讀シ筆算ニ通スルモノ

第四十四條 取締人ニ於テ取扱フヘキ事項左ノ如シ

一 解船營業ニ關スル諸規則命令ヲ營業者ニ通知スル事

二 組合營業者ノ願届ニ加印シ意見アルモノハ其旨ヲ添申スル事

三 營業者及船夫ノ名簿ヲ製シ増減アル毎ニ之ヲ加除スル事

四 組合ニ關スル費用ヲ取立及之ヲ支拂フ事

五 組合ニ關スル諸費ヲ決算シ之ヲ組合ニ報告スル事

右ノ外規約ヲ以テ定メタル事項

第六章 罰則

第四十五條 左ノ各項ニ係ルモノハ違警罪ヲ以テ處分セラルヘシ

一 本則第二條第五條第六條第十一條第十二條第十三條第十四條第十七條第三十一條

第廿二條第廿三條第廿四條第廿五條第廿六條第廿七條第廿九條第三十一條第三十二條第三十三條第三十四條第三十五條第三十六條第三十七條第三十八條第四

十二條ニ違背シタル者

二 本則第三十條ニ違背シ制止ヲ肯セサル者

港内解船營業取締附則

第一項 港内解船ニアラサル船舶ニシテ神戸港繫泊ノ外國船及外國航行ノ内國船ハ

貨物ヲ積卸セントスルハ豫メ神戸税關監視課ノ認可ヲ受ケ其証ヲ水上警察所ニ

差出シ標旗貸下ケヲ請求スヘシ

但大坂府下ノ解船ニシテ同府規程ノ標旗鑑札ヲ携帯スルモノハ神戸税關監視課

ノ認可ヲ受クルノ外標旗貸下ケヲ請求スルノ限リニアラス

第二項 前項神戸税關監視課ノ認可ヲ經ス且ツ貸標旗ヲ掲ケサルモノハ直チニ積卸

ヲ爲スヲ得ス

第三項 標旗貸下ケヲ受ケ貨物積卸ヲ畢ヘタルトキハ直チニ標旗ヲ返納スヘシ

神戸區

●兵庫縣令第八十號(二) 明治廿一年六月五日

本年(六月)縣令第七十九號ヲ以テ解船營業取締規則發布候處在來ノ營業船ニシテ規則

第十八條各項ニ觸ル、モノハ規則施行ノ日ヨリ一年間實施ヲ猶豫ス

●兵庫縣令第八十四號(二) 明治十一年六月九日  
烟火取締規則別紙之通相定メ本年七月一日ヨリ施行ス

但明治十一年本縣甲第五十四號同十八年本縣甲第十七號布達ハ實施ノ日ヨリ廢止ス

烟火取締規則

第一條 烟火製造ノ營業免許ヲ得ントスルモノハ其願書ニ左ノ各項ヲ詳記シタル書面  
ヲ添ヘ所轄警察署ヲ經テ當廳ヘ差出スヘシ

但本則第九條ニ依リ烟火貯藏願又ハ火藥庫建設願ヲ本願書ニ添テ差出スハ妨ケナ  
シ

一 製造場及火藥類置場位置ヲ示シタル略圖

一 製造場又ハ火藥類ノ置場ト人家若クハ火ヲ取扱フ場所トノ距離但距離八十間以  
上タルヘシ

一 烟火ノ種類

第二條 烟火販賣ノ免許ヲ得ントスルモノハ願書ニ其種類ヲ記載シ貯藏場ノ略圖ヲ添  
ヘ所轄警察署ヘ差出スヘシ

但小兒ノ玩弄ニ止マル線香火花鼠花火ノ類ハ此限ニアラス

第三條 烟火製造者ニシテ他ヨリ製造品ヲ買入販賣セントスルハ第二條ニ依リ免許

ヲ受クヘシ

第四條 白痴瘋癲者又ハ管理者ナキ未丁年ノ者ニハ免許ヲ與ヘス

第五條 轉住改氏名若クハ廢業シタルトキハ五日以内ニ所轄警察署ヘ届出ヘシ

第六條 烟火製造場及販賣所ノ見易キ場所ニ左ノ看板ヲ掲クヘシ

竪二尺八寸

免 製造 營業  
烟火 販賣  
許 寸七橫

住所氏名

第七條 烟火ハ火藥庫又ハ倉庫ノ外ニ貯藏スヘカラス但配合シタル火藥三百目迄ノ烟  
火ハ安全ナル場所ニ貯藏スルヲ得

第八條 烟火貯藏ノ制限ハ製造人ニ在テハ其使用セントスル火藥類ト已ニ製造シタル  
モノト併セテ成規ノ量目(火藥五貫目劇發火藥五百目)ヲ超過スルヲ得ス又販賣者

ニ在テハ其烟火ニ配合シタル火藥三百目ヲ超過スルヲ得ス

第九條 烟火製造人ニ於テ前條ノ烟火并ニ火藥類ヲ貯藏セントスルハ明治十七年第  
三十一號公布火藥取締規則及全十八年(十一月)本縣甲第九十九號布達ニ依リ願出ヲ

ナスヘシ

第十條 烟火製造場又ハ火藥類若クハ烟火ヲ貯藏スル火藥庫又ハ倉庫内ニ於テ烟火ヲ爲シ其他鐵製又ハ發火質ノ物品ヲ使用スヘカラス

第十一條 烟火ハ日出前日没後製造又ハ販賣スルコトヲ得ス

第十二條 幼稚ノモノ又ハ白痴瘋癲者ト認メタルモノハ烟火ヲ販賣スヘカラス

第十三條 烟火製造人及販賣人ハ左ノ事項ヲ詳記シ翌月五日限リ所轄警察署ヘ届出ヘシ

- 一 火藥類ヲ買入レタルトキハ其年月日斤量及火藥類營業者ノ住所氏名
- 一 製造シタル烟火ノ種類及其員數
- 一 賣渡タル烟火ノ種類及買受人ノ住所氏名
- 一 月末日烟火及火藥類ノ現在高

(第十四條 烟火ノ打揚ヲ爲サントスルモノハ其願書ニ日時場所及烟火ノ種類員數ヲ記載シ所轄警察署又ハ分署ニ差出シ許可ヲ受クヘシ但許可シタルモノト雖モ烈風等ニ依リ危険ト認ムルトキハ一時停止スルコトアルヘシ)(明治廿五年三月縣令第五十號ヲ以テ本條削除)

第十五條 本則第一條第二條ニ違犯シタルモノハ刑法第四百二十五條三項ニ照ラシ又第七條第八條第九條ニ違犯シタルモノハ明治十七條第三十一號布告火藥取締規則第二十八條ニ依リ第五條第六條第十條第十一條第十二條第十三條ニ違犯シタルモノハ

刑法第四百二十七條第八項ニ照シ處罰セラルヘシ

●兵庫縣令第八十八號(二) 明治二十一年六月二十一日

客年縣令第三十一號本縣違警罪目中ニ左ノ二項ヲ追加ス

三十七 乘合馬車營業取締規則ニ違背シタルモノ

三十八 港内解船營業取締規則ニ違背シタルモノ

●兵庫縣令第九十號(二) 明治廿一年六月廿六日

明治十九年(八月)縣令第十五號ヲ以テ長屋裏屋建築規則發布候ニ付テハ規則ニ抵觸スル從來ノ長屋裏屋ハ該令但書期限(八郡郡荒田村ニ在テハ明治廿年(七月)縣令第七十號但書ノ期限ヲ云フ)内ニ改造スヘキ筈ノ所右期限ヨリ更ニ三年間猶豫ス但規則第八條ニ抵觸スルモノニシテ衛生上甚シキ害アリト見認ムルモノハ期限内ト雖モ特ニ改造ヲ命スルコトアルヘシ

●兵庫縣令第百號(勸) 明治廿一年八月十四日

明治廿年本縣令第三十一號兵庫縣違警罪目ニ左ノ一項ヲ追加ス  
第三十九項 明治廿一年本縣令第九十九號ニ掲グル各村諸山ニ於テ該縣令ニ違背シ

諸作業ヲ爲シタルモノ



●兵庫縣令第一百十號(二) 明治廿一年九月廿七日  
明治十九年二月甲第廿四號寄席取締規則第十七條へ左ノ但書ヲ追加シ明治廿二年四月一日ヨリ實施ス

但演劇興行ニ使用スルヲ許サス

●兵庫縣令第二百二十三號(二) 明治廿一年十一月廿七日  
本年(六月)縣令第九十號但書左ノ通改正ス

但規則第八條ニ抵觸スルモノニシテ衛生上甚シキ害アリト見認ムルモノハ期限内ト雖モ特ニ改造ヲ命スルコトアルヘシ

●兵庫縣令第二百二十八號(保) 明治廿一年十二月八日  
明治十五年(三月)本縣甲第六十七號布達廢止ス

○參照

十五年甲第六十七號布達ハ賣淫罰則ナリ

●兵庫縣令第三百二十七號(保) 明治廿一年十二月廿二日

明治十九年(二月)甲第二十六號布達湯屋取締規則中左之通更正ス

第一條鹽湯ノ下(又ハ)ノ二字ヲ加ヘ藥湯ノ下(又ハ)礦泉ヲ探酌シテ浴ノ十字ヲ削除ス

第二條副ハノ下(藥湯及ヒ礦泉浴場業ハ所轄警察署ヲ經由當廳へ其他ハ)ノ廿四字及同條但書藥湯ノ下(及ヒ礦泉浴場)ノ六字ヲ削除ス

第五條但書第四條ノ下(第八條)ノ三字ヲ削除ス

第七條但書藥湯ノ下(及ヒ礦泉浴)ノ五字ヲ削除ス

第九條但書及ヒノ下ヲ(藥湯場ニシテ第七條一項但書ニ該當スルモノハ此限ニアラス)

ト改ム

第廿條ヲ左ノ如ク改ム

第廿條 左ノ各項ニ係ルモノハ違警罪ヲ以テ處分セラルヘシ

第一 本則第二條第三條第四條第五條第九條第十一條ニ違背シタル者

第二 本則第八條第十條ニ違背シ制止ヲ肯セサル者

第三 本則第十二條第十三條第十四條第十五條第十六條ニ違背シ官ノ督促ニ從ハサル者

●兵庫縣令第三百三十九號(保) 明治廿一年十二月廿七日

明治十四年(十二月)甲第二百一號布達貸席及娼妓取締規則中左ノ通更正ス

貸席取締規則

一第廿二條第廿三條ヲ左ノ如ク改ム

第十二條第三條第四條第五條第六條第八條第十條第十一條第十二條第十四條第十五條第十六條第十七條ニ違背シタルモノハ違背罪ヲ以テ論シ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十三條此規則ニ違背シタルモノハ其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ營業ヲ禁止シ又ハ停止スルコトアルヘシ

一 第十四條以下削除ス

娼妓取締規則

一 第十七條第十八條ヲ左ノ如ク改ム

第十七條第二條第三條第四條第五條第六條第七條第八條第十條第十五條ニ背違シタルモノハ違背罪ヲ以テ論シ三日以上十日以下ノ拘留ニ處シ又ハ壹圓以上壹圓九拾五錢以下ノ科料ニ處ス

第十八條此規則ニ違背シタルモノハ其情狀ニ因リ行政ノ處分ヲ以テ營業ヲ禁止シ又ハ停止スルコトアルヘシ

一 第十九條以下削除ス

娼妓取締規則附錄 娼妓梅毒検査并入院規則

一 第十五條削除ス

●兵庫縣令第四百四十三號(保) 明治廿一年十二月廿七日

明治十七年(十二月)甲第四百十四號布達墓地及埋葬取締細則第十三條中死亡届書トアルヲ(死亡証)トシ又檢案書トアルヲ(檢案証)ト更正ス

但本令ハ明治廿二年一月一日ヨリ施行ス

●兵庫縣訓令第七號(二) 明治廿一年七月十九日 沿海郡區役所

戶長役場  
浦役場

郵便物積載ノ船舶難破等ニ罹リタル節取扱ノ義ニ付遞信省第七號ヲ以テ別紙ノ通り訓令相成候條此旨相心得ヘシ

但費用ヲ要シタル場合ニ於テハ所轄警察署ヲ經テ當廳ヘ申出ツヘシ

遞信省訓令第七號 明治二十一年六月九日 北海道廳 沿海府縣并滋賀縣

郵便物ヲ積載セル船舶ノ難破等ニ罹リ其積載ノ郵便物ヲ航送シ能ハサル場合ニ在テ其船長又ハ代理人ニ於テ遭難最寄地ノ戶長役場若クハ浦役場ニ送致シタルルハ其送致ヲ受ケタル戶長役場浦役場ハ送致者ヘ受領書ヲ交付シ其郵便物ニ相當保護ヲナシ速ニ最寄郵便局ニ送達セシムヘシ

但戶長役場又ハ浦役場ニ於テ要シタル費用ハ所轄地方廳ヲ經由其地所管ノ遞信管理局ヘ請求セシムヘシ

遞信大臣子爵榎本武揚

●兵庫縣訓令第十七號(勸) 明治二十一年八月十四日  
 郡役所 (神戸武庫城崎美含出石氣多)  
 鳥獸獵規則第十條但書ニ依リ來ル二十年六月三十日迄伸期場所明治二十年度ノ通差  
 許候條部内へ公示スヘシ

●兵庫縣訓令第三百三十一號(二) 明治二十一年十月六日 戶長役場  
 從來川筋ニ當ル町村ニシテ浦役場ノ設ケナキ場所ハ漂流失物等取扱ニ於テハ其町村戶  
 長ニ於テ浦役人同様ノ取扱ヲ爲スヘシ

●兵庫縣訓令第五百五十七號(保) 明治二十一年十二月廿七日 區戶長  
 明治十七年(十二月)乙第二百十六號達但書中醫師死亡届及檢案書トアルヲ(死亡證及  
 檢案證ト更正ス  
 但本文更正ハ明治廿二年一月一日ヨリ施行スル義ト心得ヘシ

●兵庫縣告示第三號(庶) 明治二十一年一月十二日  
 一草木四季蒸 小本壹册  
 明治廿年十一月廿九日出版届

當縣平民

著兼出版人

吉竹龜太郎  
多紀郡北新町四十七番地

右ハ明治二十一年一月九日内務大臣ヨリ出版發賣頒布ヲ差止メラル

●兵庫縣告示第四十五號(一) 明治二十一年四月十一日 播磨國 神東郡  
 福本警察署所屬請願費設置豐富分署ハ本年三月限り廢止ス

●兵庫縣告示第四十六號(一) 明治二十一年四月十一日 播磨國 加古郡  
 高砂警察署所屬請願費設置西谷分署ハ本年三月限り廢止ス

●兵庫縣告示第五十九號(二) 明治二十一年五月十日  
 警察署へ差出スヘキ營業願ニシテ其願人ノ住所分署所轄地ニ係ルモノハ其分署ヲ經テ  
 差出スヘシ  
 但願人ノ便否ニ依リ直ニ警察署へ差出スモ妨ケナシ

●兵庫縣告示第六十五號(二) 明治二十一年五月廿五日  
 明治十九年(四月)戊第五十五號告示中「諸市場及」ノ四字并ニ願ノ下「等」ノ一字ヲ削除  
 ス

●兵庫縣告示第六十七號(一) 明治二十一年五月三十日

洲本警察署所屬河上分署ヲ同郡萬歲村ニ移轉シ萬歲分署ト改稱ス

●兵庫縣告示第九十二號(二) 明治廿一年七月三十日

明治十六年(十二月)當縣戊第四百十號告示廢止ス

○參照

十六年戊第四百十號ハ福井縣下貸座敷等營業者ノ件

●兵庫縣告示第九十七號(二) 明治廿一年八月卅一日

明治十六年(十二月)當縣戊第三百三十七號告示廢止ス

○參照

十六年戊第三百三十七號ハ富山縣下貸座敷等營業者ノ件

●兵庫縣告示第一百一號(一) 明治廿一年九月八日

明治十九年(九月)本縣告示第三十三號ハ本月十五日限り取消ス

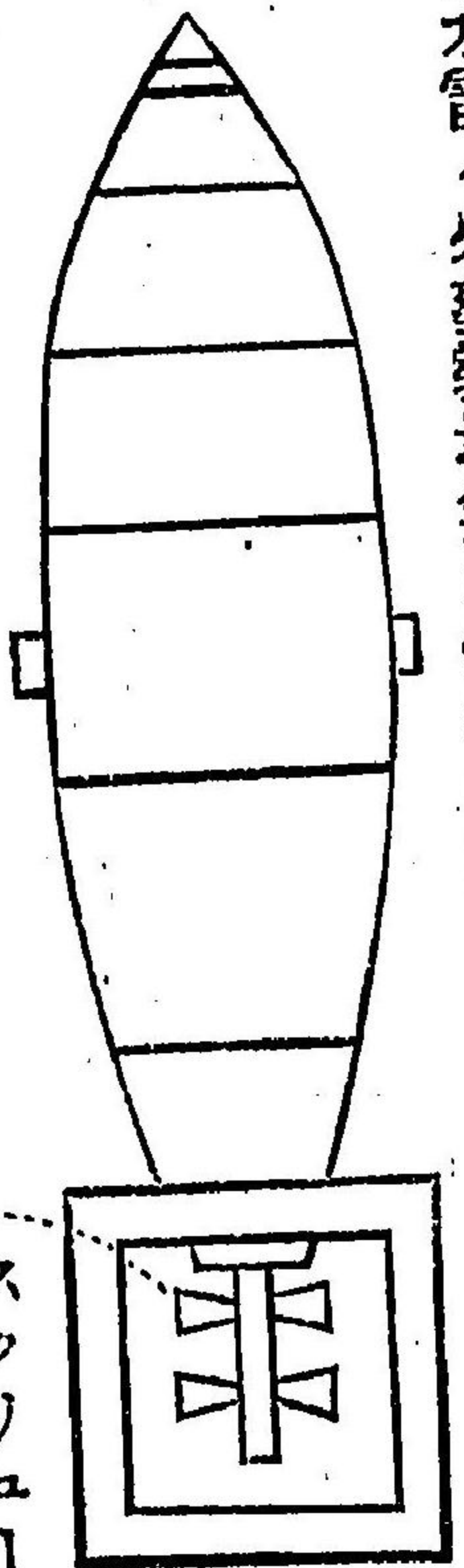
○參照

十九年告示第三十三號ハ長屋裏屋建築規則ノ屆警察本部ニ差出方ノ件

●兵庫縣告示第二百二十一號(二) 明治廿一年十一月十日

神戸 八部 菟原  
兵庫 川邊 各郡區

本月五日高千穂艦住吉沖南方凡ソ壹海里ノ所ニ於テ水雷發射演習中左記畧圖魚形水雷壹個海底ニ沈入所在不分明ナル趣ニ有之候條後日風波等ニ依リ海面ニ浮出ルカ或ハ漁網ニ掛リ發見致候ハ、早速其筋へ届出ヘシ  
但該水雷ハ火藥裝填無之候得共決シテ解剖等致スヘカラス



スクリーン 貳個

總体眞鍮製

長凡十四尺

徑大ナル所

凡壹尺三寸

監獄

●兵庫縣告示第九號(監) 明治二十一年一月十四日  
縣下龍野監獄ノ義ハ揖西郡龍野日山村字普興寺跡へ新築候處工事落成ヲ告ケタルニ付  
客年十二月廿九日ヲ以テ移轉ス

會計

●兵庫縣令第六十號(會) 明治廿一年四月十四日  
明治十五年丙第四十一號布達相廢候條爲替方改賃包賃ノ義ハ人民直接ノ納金ニ限リ金高千分一手數料ヲ交付スヘキ義ト心得ヘシ  
(明治廿一年縣令第九十八號ヲ以テ廢止)

●兵庫縣令第九十八號(會) 明治廿一年八月十一日  
本年四月當縣令第六十號自今相廢止ス

○參照

廿一年縣令第六十號ハ爲替方改賃包賃手數料交付方ノ件

郡區役所

●兵庫縣訓令第三十七號(會) 明治廿一年三月廿七日  
來ル二十一年度ヨリ爲替方命令書案第十五條中(三月分ツ、四季ニ支給スヘシ)トアルヲ(九月三月ノ兩度ニ支給スヘシ)ト改正シ但書(別段給與セサルヘシ)ノ下(且戶長職務ヲ以上納スル金或ハ右手數料ヲ要セス)ノ二十二字ヲ追加ス

郡役所

戶長役場

●兵庫縣訓令第六十八號(會) 明治廿一年五月十一日  
明治十二年本縣乙第八十二號達相廢止候條自今負債者轉換等ノ節ハ左之通心得ヘシ

- 一 郡役所ハ諸貸下金負債者人名ヲ其部内戸長役場へ無漏此際通牒スヘシ  
但自今管内他郡區エ轉籍寄留等ニテ異動ヲ生シタル節ハ轉入先戸長役場へ其時々通牒スヘシ
- 一 戸長役場ハ前項ノ通牒ニ依リ負債者人名簿ヲ製シ置裁判上身分限ノ處分ヲ受クルモノ有之節ハ揭示初日ヨリ十日以内ニ郡役所へ届出ヘシ  
但爾後負債者轉籍寄留等ニテ異動ノ節ハ無遺漏人名簿ヲ加刪スヘシ
- 一 負債者ノ内全戸逃亡又ハ死跡相續人無之場合ニ於テハ戸長役場ハ速ニ郡役所へ届出ツヘシ
- 一 同上ノ内他へ轉籍寄留等ノ者有之節ハ郡役所へ届出ルハ勿論ト雖モ一郡役所所轄内ノ役場ヲ異ニスルモノハ直チニ其轉入先戸長役場へ移牒シ別ニ届出ヲ爲スニ及ハス其引受ケタル役場ヨリ郡役所へ届出ツヘシ此場合ニ於テハ郡役所ハ第一項但書ノ通牒ヲナスニ及ハス

○參照

明治十一年訓令第六十九號參看

●兵庫縣訓令第六十九號(會) 明治十一年五月十一日

郡區役所

明治十二年本縣乙第八十三號諸貸下金取扱方條例相廢止更ニ取扱順序左之通り相定ム

○參照

明治廿四年訓令第十六號參看

諸貸附金取扱順序

- 第一條 諸貸附金ノ證書ハ叮嚀之レヲ保管シ其抵當品ニ變更アル歟若クハ登記所ニ於テ登記簿ヲ燒失又ハ紛失等ノ告示アルルハ速ニ其登記ヲ要請スヘシ
- 第二條 負債者ノ内事故アリ延期出願ノ者ハ精密調査ヲ爲シ現ニ糊口ニ差支フル程ノ困難ニシテ事情止ムヲ不得モノニ限り所見ヲ具シ(具狀書中何藩縣何號貸付金タルヲ記載スヘシ)願書ヲ進達スヘシ但既定ノ納期ヨリ三箇月以内ノ猶豫ハ各應限リ延期ヲ與ヘ其旨上申ス可シ
- 第三條 既約ノ年賦ヲ以テ一時返納願出ルルハ成規ノ利引法ニ據リ各應限リ許可ノ上計算書ヲ添時々申牒ス可シ(但既約ノ年賦五十箇年以上ノモノハ之ヲ五十ヶ年賦ニ短縮スヘシ尤既約年賦ヲ變更スルモノハ所見ヲ具シ願書ヲ進達スヘシ猶此ノ場合ト雖卅年賦ハ五十箇年未滿タル可シ
- 第四條 貸附金皆納ノ節ハ賦納金ニ對シ(明治十九年三月以前)交付シアル受取證書ヲ引揚原證書ヲ下戻シ其旨報告ス可シ  
但受取證書紛失等ニテ難差出モノハ其旨書面ヲ徴シ送付スヘシ

第五條 事故アリ證書ノ更正ヲ爲スヘキ場合ニ於テ本人又ハ受人ノ内既ニ死亡等ノモ  
ノアル片ハ相續人ナシテ調印セシム可シ

但原證ハ寫取ノ上新證書ニ添付シ置ヘシ

第六條 他債ノ爲メ裁判上身分限リノ處分ヲ受ケタルモノニ對シ貸付金有之節ハ拾五  
年二月第十二號公達第一項ニ依リ未納ノ金額請求スヘシ

第七條 前條ノ未納金ニ對シ分配金ヲ以テ尙不足スル片ハ受人証人等アルモノハ六年  
第百九十五號及八年第百二號公布辨償規則ニ依ルハ勿論ト雖片若シ受人証人等無之  
場合ハ證書ハ未納金等ノ計算書(未納金額并訴訟入費トモ)添ヘ裁判所ヘ裏書ヲ請求  
處分濟證書寫相添其時々申牒スヘシ

但分配ノ收入金ハ其金額ヲ掲載納額告知書ヲ請求スヘシ

第八條 身代再興ノ上裏書ノ金額ニ對シ返納願出ル者ハ所見ヲ具シ願書ヲ進達ス可シ

第九條 同上ノ節皆納ニ至ル者ハ裁判所ヘ通牒證書下ケ戻方ハ第四條ノ通取計ヘシ

第十條 連帶負債者ノ内他債ノ爲メ身分限リノ所分ヲ受クルモノハ殘ル連印者ヨリ辨  
償ノ等ニ付證書ノ裏書ヲ乞フニ及ハス分配金ハ第七條但書ニ依ルヘシ訴訟入費ハ更  
ニ證書(相當印紙ヲ用ユ)ヲ徵シ處分濟精算書并訴訟入費ニ係ル證書寫相添時々申牒  
スヘシ

但連帶者ノ内殘ル辨償人無之場合ハ第七條ニ依ルヘシ

第十一條 同上身分限リノ節殘金ハ他ノ連帶者ヨリ殘年期ニ割替又ハ年期短縮返納方  
出願セシメ所見ヲ具シ願書ヲ進達スヘシ

第十二條 負債者ノ内全戸逃亡又ハ死跡相續人無之場合ハ計算書相添ヘ裁判所ヘ證書  
裏書ヲ請求處分濟寫相添申牒スヘシ

但全戸逃亡及失踪者ニ係ルモノハ定約滿期ニ至リ本文ノ手續ヲ爲ス可シ

第十三條 前條ノモノ三十六箇月經過ノ後尙徵收ノ途無之片ハ其旨申牒スヘシ

第十四條 負債者他府縣ヘ轉籍又ハ寄留中該廳ヘ返納ノ義願出ル者ハ證書類相添時々  
申牒スヘシ

但本文ノ場合ト雖片原籍ニ於テ受人等有之節ハ受書ヲ徵シ置ク可シ

第十五條 負債者管内他郡區ヘ轉籍又ハ寄留ノ者ニシテ引繼ヲ爲シタル節ハ其引繼ヲ  
受ケタル各廳ヨリ直ニ届出ヘシ原籍ニ於テ辨償人等有之場合ハ第十四條但書ニ依ル  
ヘシ

第十六條 諸貸付金ノ徵收ハ十九年乙第七十號本縣達ニ依ルト雖片舊豐岡縣勸業貸ニ  
限リ兼テ整備セル基帳ニ依リ期限通直チニ徵收ノ上爲替方送金手形ニ上納證書ヲ添  
付送納スヘシ



但舊豐岡縣勸業貸ハ第三條ノ利引ヲ爲スノ限リニアラス  
 第十七條 各應限リ直チニ徵收スヘキ貸付金ハ別紙書式ノ報告書ヲ調製會計年度後十日以内ニ進達スヘシ

(別紙)

( )ハ朱印

(用紙ハ美濃梓紙素厚白紙袋綴)

諸貸付金未納報告書

廳名

記

年號何年何月何日

舊豐岡縣勸業貸付金未納總額

一金

內

金

前年度

金

本年度

金

何年度

金

何年度

(納期後三ヶ月以内ノ未納金ヲ掲ノヘシ)

何年度以后統括

金

(本年度分ヨリ四箇年度目以后ノ分チ一括シテ掲クヘシ)

金

返納年度未定

(負債者失踪又ハ返納据置ノ類ヲ掲クヘシ)

金

還納未定

(負債者身代限ニ係ル未納金又ハ失踪後三十六箇月經過ノ未納金ヲ掲クヘシ)

右報告書面之通相違無之依テ前年度及ヒ本年度分共期約之通可令納付候也

各郡區長官氏名印

年號月日

知事宛

郡區役所

●兵庫縣訓令第八十六號(會) 明治廿一年六月六日

旅費規則第十條ニ該當スル巡視旅行中甲乙現場ヲ移轉若クハ他ニ旅行シ仍テ車馬賃等ヲ給スルノ日ハ日當三割増ノ支給ヲ止ム

●兵庫縣訓令第百號(庶) 明治廿一年七月六日

郡區役所 縣立學校  
戶長役場 縣立病院

明治十九年七月二日當縣乙第百二十一號中第二條第三條第四條左ノ通り更正  
第二條郡區書記及戶長ハ明治十九年閣令第十四號六等旅費郡區役所戶長役場備員ハ

同年內務省令第十一號甲號表面給仕小使職工ノ類ハ同上乙號表面ノ旅費ヲ給ス  
但郡區書記戶長其郡區內車馬賃ハ一里毎ニ金五錢日當金四拾錢トス

第三條縣立學校中職員ニシテ委任ノ待遇ヲ受クルモノ明治十九年閣令第十四號四等  
旅費判任待遇ヲ受ケ月俸四拾圓以上ハ五等旅費同上四十圓未滿ハ六等旅費ヲ給シ備  
員以下第二條ニ同シ

第四條縣立病院職員月俸四拾圓以上ハ明治十九年閣令第十四號五等旅費四拾圓未滿  
拾圓以上ハ同上六等旅費拾圓未滿ハ同年內務省令第十一號甲號表面給仕小使職工ノ  
類ハ同上乙號表面ノ旅費ヲ給ス

●兵庫縣訓令第九號(會) 明治廿一年七月廿五日  
旅費月額給與概則別紙之通相定メ來八月一日ヨリ施行ス

郡區役所

旅費月額給與概則

第一條 判任官及傭員ノ土工營繕若クハ檢疫其他臨時調査監督事務ニ係リ其場所ヲ定  
メ又片道陸路三里(瀛車ハ五哩海路ハ五海里)未滿ノ區域内ヲ巡回スル等豫定日數三  
十日以上ノ定詰出張ハ一般ノ旅費日當ニ代ヘ一切ノ費用トシ月額未以テ支給スヘシ  
第二條 定詰出張員月額ハ其官等俸給ニ拘ラズ用務ノ性質ヲ區分シ左ノ等級ニ據ル  
一等 (一定ノ場所ニ在テ日々其區域内ヲ巡回スルモノ) 判任十五圓、傭員十圓

二等 (一定ノ場所ニ滞留巡回セザルモノ) 判任十一圓、傭員八圓

第三條 月額ハ該出張所へ到着ノ翌日ヨリ歸應發程ノ前日迄ヲ支給スルモノトシ端日  
數ハ其月ノ現日數ニ割合計算スヘシ

第四條 定詰出張中片道陸路三里(瀛車五哩海路五海里)以上ノ地へ旅行セシハ一般  
ノ旅費日當ヲ支給ス

第五條 前條ノ旅行又ハ事故ニ據リ該出張所ニ在ラサル日ハ其日數分テ月額ヨリ控除  
ス

郡區役所

●兵庫縣訓令第百拾六號(會) 明治廿一年八月十一日  
爲換方命令案第拾五條但書自今刪除ス

郡區役所

●兵庫縣訓令第百三十五號(會) 明治廿一年九月三日  
郡區長管理部內旅費額左ノ通減少本月五日ヨリ施行

一 郡區長其管理部內旅行ニ係ル旅費ハ規則表面ノ五等管内費額ヲ支給ス  
但甲乙兩郡區以上兼務廳ノ間ヲ往復スルトキノ日當額ハ金五拾錢トス

郡區長

●兵庫縣訓令第百五十號(會) 明治廿一年十二月十一日  
當分其管理部內出張ト雖モ都度其事山ヲ具シ經伺ヲ要ス若シ事急ニシテ其邊ナキ片ハ

出發全時ニ事由ヲ申告セラルベシ

但甲乙兼務廳ノ間ヲ往復スル旅行ノ如キハ經借ノ限リニ非ラズ

(明治廿二年訓令第三十四號ヲ以テ廢止)

●兵庫縣告示第三百三十三號(會) 明治廿一年十二月十一日

每年末本廳ノ出納閉鎖期ヲ十二月廿五日ト定ム

但休廳日ハ繰上ケ且臨時ニ係ル收支ハ本文ノ限ニ非ラズ

土木

神戸區

●兵庫縣令第十六號(土) 明治廿一年一月廿四日

神戸區三ノ宮町並ニ加納町地方ニ新市街開設町割ノ義別紙圖面ノ通相定メ候條自今該道路線路ニ沿ヒタル家屋改築又ハ新築セントスルモノハ所管區役所へ届出テ其位置檢査ヲ經テ着手スヘシ

但圖面ノ義ハ所管區役所ニ付キ見ルヘシ

攝津國菟原郡葺合村

●兵庫縣令第十七號(土) 明治廿一年一月廿四日

其村內新生田川以西鐵道以北ノ地ニ新市街開設町割ノ義別紙圖面ノ通相定メ候條自今該道路線路ニ沿ヒタル家屋改築又ハ新築セントスルモノハ所管區役所へ届出テ其位置檢査ヲ經テ着手スヘシ

但圖面ノ義ハ戶長役場ニ付キ見ルヘシ

神戸區

●兵庫縣令第七十八號(土) 明治廿一年六月五日

神戸區相生橋ヨリ相生町湊町ヲ經テ西柳原町國道線迄(廿一年縣令第九十四號ヲ以テ本文ノ通改正)及永澤町字外川ヨリ鍛冶屋町海岸ニ至ル道路狹隘不便ニ付漸次接續宅地ヲ買上ケ湊町通ハ幅員五間半(下水共)鍛冶屋町通ハ四間半(下水共)ニ開擴可致管ニ

候條自今該線路ニ沿フタル家屋ヲ新築又ハ改築（一時ノ破損ヲ復舊スルモノ、外道路ニ沿フタル部分ノ模様ヲ變換スルモノ又全シ）セントスルモノハ前以テ當廳へ届出幅員ノ檢定ヲ受ケタル後着手スヘシ  
但長屋建築規則ニ照準スヘキモノ及工事ニ付足場板圍等取設ヲ要シ其許可ヲ得ル爲メ所管警察署へ出願スルモノモ本文檢定ヲ受クヘシ雖トモ當廳へハ別ニ届書差出ニ及ハス

●兵庫縣令第九十四號（土） 明治廿一年七月廿一日

神戸區

本年（六月）縣令第七十八號中「神明町神明神社迄」トアルヲ「西柳原町國道線迄」ト改正ス

●兵庫縣令第一百八號（土） 明治廿一年十一月十四日

神戸區 菟原郡 八部郡

自今左記ノ水流ヲ引用シテ水車ヲ新設又ハ増設スルヲ禁止ス

一 生田川水源ヨリ流末迄

一 再度谷

一 石井川湊川合流所ヨリ下流及湊川西東山避病院道南下水溝流末迄

●兵庫縣訓令第二十四號（土） 明治廿一年三月二日

郡役所 戶長役場

今般第三十號ヲ以明治二十一年度地方稅經濟ニ關スル土木起工順序及告示候ニ付テハ

右取扱手續別紙之通相定ム

土木起工取扱手續

第一節

地方稅支辨ニ係ル起工ノ事

第一項 國縣道ニ屬スル橋梁ノ建築修繕ヲ具申シタルト片ハ主務官吏ヲシテ實地ニ就キ其緩急ヲ審查シ之ヲ取捨シテ目論見書ヲ編纂セシム但國縣道修繕施行ノ順序ハ別段郡長ニ訓令スル所ニ依ル

第二項 當廳ハ主務官吏ノ編纂セシ目論見書ニヨリ實施スヘキト否トヲ甄別シ實施ス

ヘキモノハ第二部ヨリ所管郡役所へ通牒セシム

第三項 前項實施スヘキモノハ主務官吏例規ニ據リ受負人ヲ定メ工事施行ノ手續ヲ爲

シ成功ニ至リ其工費ヲ所管郡役所ニ送附シ受負人へ下付セシム但受負人ノ請求ニヨ

リ當廳ニ於テ直ニ下付スルコトアルヘシ

第四項 國縣道ノ橋梁及ヒ之ニ屬スル茅除杭修繕費凡ソ見込金高貳拾圓未滿ノモノハ

郡長ニ於テ實地ヲ檢査シ施工ノ手續ヲ爲スヘキニ因リ其破損ノ箇所ハ戶長ヨリ郡長

ニ申出ヘシ但郡長ニ於テ施行スルノ順序ハ別段ノ訓令ニ依ル

第二節

地方稅町村費連帶支辨ニ係ル起工ノ事

第一項 地方稅支給ニ係ル河港堤防ノ修築ヲ具申シタルト片ハ主務官吏ヲシテ實地ニ

就キ其緩急利害ヲ審査シ之ヲ取捨シテ目論見書ヲ編纂セシム

第六項 當廳ハ主務官吏ノ編纂セシ目論見書ニヨリ實施スヘキト否トヲ甄別シ實施スヘキモノハ所管郡長(會議ヲ管理スルトキニ限ル)又ハ戸長ニ訓令スヘシ

第七項 前項實施スヘキモノハ主務官吏例規ニヨリ受負人ヲ定メ工事施行手續ヲ爲シ受負金額確定ノ後所管郡長(會議ヲ管理スルトキニ限ル)又ハ戸長ニ通牒セシム

第八項 郡長又ハ戸長ニ於テ前項ノ通牒ヲ受ケタルトキハ豫テ會議ノ評決セル方法ニヨリ聯帶町村費ヲ徵收シ之ヲ郡役所ニ收納濟ノ後其旨郡長ヨリ具申スルモノトス但町村費ハ郡役所ニ收納セス戸長役場ニ於テ直ニ支拂及受領ヲ請フ向ハ之ヲ許可スルコトアルヘシ

第九項 工費支拂ヲ要スルトキハ地方稅負擔ニ係ル金員ヲ所管郡役所ニ送付シ郡役所ハ第二部ノ通牒ニヨリ聯帶町村費ヲ併セテ受負人へ下付ノ手續ヲ爲スヘシ但受負人ノ請求ニヨリ地方稅負擔ニ係ル金員ハ本廳ヨリ下付スルコトアルヘシ

第十項 國縣道更正ニ係ルモノハ第七項乃至第九項ニ依ルモノトス

第三節 地方稅補助ニ係ル起工ノ事

第十一項 地方稅補助ニ係ル河川堤防ノ修築ヲ具申シタルトキハ主務官吏ヲシテ實地ニ就キ其緩急利害ヲ審査シ之ヲ取捨シテ目論見書ヲ編纂セシム

第十二項 當廳ハ主務官吏ノ編纂セシ目論見書ニヨリ實施スヘキト否トヲ甄別シ實施スヘキモノハ之ヲ所管郡長(會議ヲ管理スルトキニ限ル)又ハ戸長ニ訓令スヘシ

第十三項 郡長又ハ戸長ニ於テ前項ノ訓令ヲ受ケタルトキハ豫テ會議ノ評決セル方法ニヨリ實施ノ手續ヲ爲シ其着手成功ノ日限ヲ定メ豫メ當廳ニ届出成功ニ至リ尙ホ其旨届出ヘシ

第十四項 前項ノ如ク成功ヲ届出ルトキハ主務官吏ヲシテ實地ヲ檢查セシメ而シテ地方稅補助金ヲ所管郡役所ニ送付スヘシ

第十五項 地方稅補助ニ係ル河川堤防修築費凡ソ見込金高霪圓未滿ノ者ハ郡長ニ於テ實地ヲ檢查シ施工ノ手續ヲ爲スヘキニヨリ其破損ノ箇所ハ戸長ヨリ郡長ニ申出ヘシ但郡長ニ於テ施行スルノ順序ハ別段ノ訓令ニ依ル

付 則

前第一項第五項第十項ニ據リ具申シタルモノニシテ本年度内實施セサルモノハ翌年度ニ至リ再ヒ町村會ノ決議ヲ經テ具申スヘシ

●兵庫縣訓令二十五號(土) 明治二十一年三月二日 郡役所 戸長役場

今般第三十號ヲ以明治廿一年度地方稅經濟ニ關スル土木起工順序及告示候處客年通常郡部會ノ決議ニ基キ全年度ニ於テ別表ノ通國縣道更正并橋梁建築工事實施山致候條該

橋梁ニ係ルモノモ都テ具申テ要セサル義ト心得ヘシ  
但港灣修築箇所ハ追テ訓令スヘシ

明治二十一年度國縣道更正箇所取調表

國名郡名	町村名	國道ノ別	線	路	更正延長
攝八部	白川村	縣道	神東郡辻川ヨリ岐レ三木ヲ經テ神戸ニ達ス		一里三十四丁二十一間五分
津武庫	伊子志田間	同	三田ヨリ西宮ニ達ス		一里十六丁九間七分
揖西	下筋原間	國道	飾西郡青山村ヨリ岐レ佐用郡西大畑村ヲ經テ島根縣ニ達ス		二十六丁二十二間九分
佐用	早瀬村	同	同		六丁五分
加西	磐昌村	縣道	姫路ヨリ笹山ニ達ス		一里十三丁四間一分
明石	西新助間	同	明石ヨリ飾磨港ニ達ス		二里二十三丁二十一間五分
印南	大鹽村	同	同		十九丁十六間三分
加東	阿形村	同	福知山ヨリ高砂港ニ達ス		二十九丁二十七間四分
美彥	毘沙門村	同	三木ヨリ京都ニ達ス		二里二十一丁三十九間四分

播磨	淡路	丹波	但馬	磨	赤穂	美含	出石	氷上	全	多紀	三原	津名	神西	神東				
赤穂	原四村	外四村	道谷村	安志村	前庄間	六分一間	切濱村	中山村	外二村	小野尻間	横田間	谷川村	北野新田間	縦守村間	岩屋間	野島間	福崎新間	同
鳥取ヨリ坂越港ニ達ス	養父郡藪崎村ヲ岐レ大屋市場及宍粟郡道谷ヲ經テ鳥取ニ達ス	安志ヨリ岐レ辻川北條ヲ經テ京都ニ達ス	三木ヨリ二見港ニ達ス	湯島ヨリ居組ヲ經テ鳥取ニ達ス	出石ヨリ宮津ニ達ス	柏原ヨリ姫路ニ達ス	柏原ヨリ明石ニ達ス	笹山ヨリ宮津ニ達ス	洲本ヨリ湊ニ達ス	岩屋ヨリ阿那賀ニ達ス	神東郡辻川ヨリ宍粟郡山崎ニ							
一里一丁十三間五分	三十三丁八間五分	二里三十四丁三間一分	一里十丁十九間九分	二里三十丁十九間	二十八丁四十八間	一里十五丁四十一間六分	十六丁四十九間四分	一里二十五丁二十八間八分	二里三丁四十九間五分	二里三十二丁十六間四分	一里十六丁三十六間							



同	同	架	同	架	架	同	同	同	同	同	同
一	一	設二	一	換一	設一	一	一	一	一	一	一
同	同	同	向	赤穂上郡	同	佐用	同	揖西	揖東	同	同
赤松村同	與井村同	原村	中飯屋間	村鳥取ヨリ阪越港ニ達ス	横宗阪行間同	乃井野間同	鍛冶屋村	富龍野間	大江島間	吉富村同	仁豊野村
		村鳥取ヨリ阪越ニ達ス	間姫路ヨリ飯屋ニ達ス				青山ヨリ岐レ西大島ヲ經テ島根ニ達ス	間鶴ヨリ龍野ニ達ス	間飾磨ヨリ室津ニ達ス		姫路ヨリ生野ニ達ス
同	同	土	同	同	同	同	同	同	板	石	土
二間五分同	三間同	十四間二間	四十六間二間二分	四間四分同	十一間二間	二十間二間	三十間十尺	百十一間同	十六間二間	一間三間	二間五分二間

磨

同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	架	架
一	二	一	一	一	一	一	一	一	二	設二	換一
同	印南米	同	同	同	同	加東	同	同	同	同	穴栗安志
大鹽村	米田新間	太郎太夫村	大島村	久下山村	阿形村	敷粟地間	戸倉村	道谷村	三森村	同	同
明石ヨリ飾磨ニ達ス	北條ヨリ高砂港ニ達ス				福知山ヨリ高砂港ニ達ス	福知山ヨリ中村辻川北條ヲ經テ神戸ニ達ス	同	敷崎ヨリ分岐大屋市場ヲ經テ鳥取ニ達ス	同	安志ヨリ分岐辻川北條ヲ經テ西京ニ達ス	村鳥取ヨリ西京ニ達ス
土	板	同	同	同	土	板	同	土	同	土	板
四間二間	六十八間一丈	十四間同	十六間同	六間同	一間五分二間	八十間二間二分	五間同	十五間二間	七間四分三間	四間二間半	三間一分





但											
同	同	同	架換	同	架設	同	同	同	同	架換	同
一	一	一	一	一	一	一	一	一	三	一	一
同	同	同	出石奥山村	同	同	同	養父藪崎村	同	同	朝來竹田町	同
川原村	谷山村	同	和田山ヨリ出石ニ達ス	同	中間村	同	久世田村	同	物部村	姫路ヨリ豊岡ニ達ス	藤江村
豊岡ヨリ出石ニ達ス	出石ヨリ宮津ニ達ス	同	同	同	藪崎ヨリ分岐大屋市場ヲ經テ鳥取ニ達ス	同	同	同	同	同	同
同	板	同	土	同	同	同	同	板	土	板	同
同	四間	三間	三間五分	十一間	十六間	六十六間	十八間	三間七分	三間七分	一間	五間五分
同	二間	同	九尺	同	同	同	二間	二間	二間	三間五分	同

馬											
同	架換	同	同	同	同	同	同	架設	同	同	同
一	一	二一	二一	二	二	五	二	一	一	一	一
同	多紀	同	同	同	同	同	同	美含	城崎	同	七美
大山新間	八上内	餘部村	上計村	浦上村	安木村	相谷村	切濱村	美含矢田村	京盛津口	黒田村	八井谷村
神戸ヨリ豊岡ニ達ス	篠山ヨリ西京ニ達ス	同	同	同	同	同	同	湯島ヨリ居組ヲ經テ鳥取ニ達ス	豊岡ヨリ出石ニ達ス	同	鳥取ヨリ西京ニ達ス
同	板	土板	土板	土板	土板	同	板	土	同	同	同
三間	一間五分	三間	九間	七間	四間五分	二間	十一間五分	七間五分	四十三間	一間三分	二間七分
同	二間	同	同	同	同	同	同	九尺	同	同	同





不都合無之様取計フヘシ

●兵庫縣訓令第百二號(土) 明治二十一年七月六日

郡役所

明治二十二年度ニ於テ國縣道並木植栽ヲ要スル見込ノ箇所有之候ハ、左記廉々取調本月二十日限無遲滯差出スヘシ

但植栽ヲ要セサル向ハ其旨同日迄ニ申出ヘシ

一 路線名稱地名道幅

一 一町村毎ニ植栽スヘキ樹種本數並費用

但並木及其風土適應ノ樹木ニシテ下枝迄ノ長一間以上ノモノタルヘシ

●兵庫縣訓令第百六十號 明治廿一年十二月廿八日

郡區役所

人民私費ヲ以テ開設シタル橋梁渡津及道路等電報配達人ヨリ賃錢請求之件ニ付本年內務省訓令第二十七號(官報第千六百四十六號登載)ノ旨モ有之ニ付夫々免許人ヘ示達ス可シ

●兵庫縣告示第三十號(土) 明治廿一年三月二日

各郡

明治二十一年度郡部地方稅經濟ニ關スル土木起工順序別紙之通相定ム

地方稅ニ關スル土木起工順序

第一條 地方稅土木費ヲ以支辨支給補助スル區別左ノ如シ

但河川堤防ニ屬スル修築費金貳拾圓未滿ハ悉皆關係町村ノ支辨トス

一 國縣道ノ更正ハ其工費金高ノ五步通(土功費ノ半額ニ限ル)地方稅ヨリ支辨ス

一 國縣道修繕及ヒ其橋梁建築修繕費ハ地方稅ヲ以支辨ス

一 別表第一號廿七河ニ係ル修築費ハ關係一區域內目論見金高廿圓以上貳百圓未滿ハ

五步貳百圓以上四百圓未滿ハ六步四百圓以上ハ七步ヲ支給ス

一 別表第二號七十六川ニ係ル修築費ハ關係一區域內目論見金高貳拾圓以上百五拾圓

未滿三步百五拾圓以上三百圓未滿四步三百圓以上五步ヲ補助ス

一 別表第三號十港ニ係ル修築費ハ七步第四號十五港ニ係ル修築費ハ五步ヲ支給ス

第二條 國縣道ノ更正ハ聯帶町村費決議ノ後當廳ニ於テ起工スルモノトス故ニ別段具

申ヲ要セス

第三條 國縣道ニ屬スル橋梁ノ建築修繕ヲ要スルモノハ所屬町村名道路名稱橋名及其

實況ヲ詳悉シ所管戶長ヨリ(郡役所ヲ經テ)具申スヘシ

第四條 國道縣道ノ修繕ヲ要スルモノハ所屬町村名道路名稱箇所名ヲ詳記シ所管戶長

ヨリ郡長ヘ申出ヘシ

第五條 河港堤防ノ修築ヲ要スルモノハ聯帶町村費支出決議書(決議書ニ代フルニ其

申牒面ヘ支出方決議濟ノ旨付記スルモ妨ケナシ)ヲ添付シ所屬町村河港名稱箇所名

及其實況ヲ詳悉シ左ノ期限ニ隨ヒ所管戸長ヨリ(郡役所ヲ經テ)具申スヘシ  
 但郡長ニ於テ會議ヲ管理スルトキハ郡長ヨリ具申スヘシ  
 一前期五月三十一日迄  
 一後期十月三十一日迄  
 右期限ニ後ル、モノハ急破ノ外都テ順次後期ニ讓ルモノトス  
 第六條 別表第二號ニ掲載セル七十六川堤防ノ修築ヲ要スルモノハ其實施方ヲ(郡役所ヲ經テ)所管戸長ニ訓令スヘシ  
 但郡長ニ於テ會議ヲ管理スルトキハ郡長ニ訓令スヘシ  
 第七條 郡長若クハ戸長ハ前條ノ訓令ヲ受ケ實施ノ手續ヲ爲シ其着手成功ノ日限ヲ定メ豫メ縣廳ニ届出(戸長ヨリ届出ルルハ郡役所ヲ經ヘシ以下同シ)成功ニ至リ仍ホ其旨届出可シ  
 第八條 前條成功ヲ届出レハ實地ノ出來形檢査ヲ遂ケ之レニ充ツル地方稅補助金ヲ(郡役所ヲ經テ)下附スヘシ  
 但成功檢査ニ臨ミ目論見帳ニ背戻スル廉アラハ之レカ改造ヲナサシムル事アルヘシ此場合ニ於テハ改造ニ屬スル工費ハ地方稅ヨリ補助セサルモノトス  
 第九條 國道縣道ニ屬スル橋梁修繕並ニ芥除杭修繕費凡見込高金廿圓未滿及地方稅補助川堤防修繕費凡見込高五拾圓未滿ニシテ郡役所ノ檢査ヲ經サルモノアルトキハ

戸長ヨリ之ヲ郡長ニ具申スヘシ  
 第十條 前各條ノ具申ト雖モ不急ト視認スルモノハ後年度ニ讓ルコトアルヘシ  
 第十一條 地方稅ニ關スル土木起工ノ具申等ハ總テ郡長又ハ戸長ニ於テ辨理スヘキニヨリ一般人民其他ノ出願稟申ヲ要セサルモノトス  
 但建議ハ本條ノ限外トス  
 第十二條 堤防ノ修築ニシテ郡長戸長ニ於テ費金貳拾圓以上ト認メ之レヲ具申スルモ縣廳ニ於テ貳拾圓未滿ニ止マルモノト認定スルルハ第一條但書ニ依リ處辨スルモノトス  
 第一號

地方稅支給ニ係ル河名及ヒ支給區域一覽表

國郡	流域	地方稅支給區域
攝	有馬	攝津國有馬郡生野村ヨリ流末マテ
馬	武庫川支流	武庫郡神呪寺村ヨリ合流マテ
仁	武庫川支流	同
川	澗川支流	川邊郡多田院村ヨリ神崎川合流マテ
猪	名川	西多田村



攝津川邊 澗川小派流 左門殿川

攝津國川邊郡今福村ヨリ流末マテ

第二號

計二十七河

地方稅補助ニ係ル河名及ヒ補助區域一覽表

國郡	河名	地方稅補助區域
攝津國有馬郡	武庫川支流有馬	攝津國有馬郡湯山町ヨリ合流マテ
攝津國有馬郡	有野川	有馬郡唐櫃村ヨリ合流マテ
攝津國武庫郡	同 支多々川	武庫郡水源ヨリ合流マテ
攝津國武庫郡	同 派流	同郡下瓦林村分水ヨリ流末マテ
攝津國菟原郡	同 新生田川	菟原郡水源ヨリ流末マテ
攝津國菟原郡	同 住吉川	同郡水源ヨリ流末マテ
攝津國菟原郡	同 芦屋川	同郡水源ヨリ流末マテ
攝津國明石郡	同 明石川支流	入部郡水源ヨリ攝津國明石郡王子村合流マテ

播

美蘘	加西	加東	加東	加東	飾東	神東	多可	神西	西	揖東	粟東	粟東
加古川支流	同 七屋川	同 三草川	同 加古川支流	同 單天流	同 市川支流	同 越知川	同 越知川	同 七種川	同 小田原川	同 揖保川支流	同 揖保川	同 伊澤川
播磨國美蘘郡野瀬村ヨリ美蘘川合流マテ	同 加西郡萬願寺村ヨリ網引村合流マテ	同 加東郡上鴨川村ヨリ合流マテ	同 加東郡水源ヨリ合流マテ	同 飾東郡小原村ヨリ流末マテ	同 神東郡猪笹村同郡吉富村合流マテ	同 多可郡福畑村ヨリ神東郡貝野村合流マテ	同 神西郡田口村ヨリ合流マテ	同 同郡上小田村ヨリ合流マテ	同 同郡上小田村ヨリ合流マテ	同 同郡北龍野村合流マテ	同 同郡引原村ヨリ西安積村合流マテ	同 同郡上野村ヨリ合流マテ





波上同	遠阪川	同	同郡遠阪村ヨリ佐治川合流マテ
淡路津名	洲本川支流	千種川	淡路國津名郡千種村ヨリ合流マテ
地方税支給河ヨリ補助區域へ編入ノ分			
攝津武庫	武庫川支流	逆瀬川	攝津國武庫郡水源ヨリ合流マテ
播磨美	加古川支流	美養川	播磨國美養郡水源ヨリ加古川合流マテ
磨多紀有	同	東條川	丹波國多紀郡黒石村ヨリ加古川合流マテ
丹波氷上	幹流	竹田川	同 氷上郡水源ヨリ流末マテ
淡津三原	幹流	洲本川	淡路國三原郡中條村ヨリ流末マテ
路三原	三原川支流	大日川	同 三原郡立川瀬村ヨリ合流マテ
攝有馬幹	流	武庫川	攝津國有馬郡藍本村ヨリ寺村マテ
地方税支給河川上流地方税補助區域へ編入ノ分			

津川邊	澁川支流	猪名川	同 川邊郡柏原村ヨリ虫生村マテ
明石幹	流	明石川	播磨國明石郡水源ヨリ細田村マテ
朝來西	幹流	市川	但馬國朝來郡黒川村ヨリ播磨國神西郡比延村マテ
粟	揖保川支流	林田川	同 同郡皆河村ヨリ名坂村マテ
飾西	幹流	夢前川	同 飾西郡山ノ内村ヨリ新庄村マテ
佐用	幹流	千種川	同 安業郡河呂村ヨリ佐用郡多賀村マテ
多可	加古川支流	杉原川	同 多可郡清島村ヨリ大河村マテ
朝來	幹流	圓山川	但馬國朝來郡圓山村ヨリ新井村山口村神子畑川合流マテ
出石	圓山川支流	出石川	同 出石郡大河内村ヨリ出合村太田川合流マテ
養父	同	系井川	同 養父郡竹内村地内
父	同	大屋川	同 養父郡横行村ヨリ大屋市場村加保村明延川合流マテ





●兵庫縣告示第三十八號(土) 明治廿一年三月十九日

神戸區

明治二十一年度區部地方稅ヲ以支辨又ハ支給スル道路橋梁港灣堤防修築費區別及施工方法左ノ通相定ム

第一項 地方稅土木費ヲ以支辨又ハ支給スル區別左ノ如シ

一 國縣里道及其橋梁并道路ニ付着スル石垣修築費

但里道ハ公道ノ稱アルモノニ限ル

一 神戸元町通國道、兵庫相生町ヨリ湊町ヲ經柳原町ニ抵ル縣道、兵庫永澤町ヨリ西宮

内町ヲ經鍛冶屋町ニ通スル路線取擴費

一 兵庫港修築費

以上悉皆地方稅支辨トス

一 湊川堤防修築費

以上工費高ノ五歩地方稅ヨリ支給ス

第二項 前項ニ掲クル工事ハ總テ縣廳ニ於テ直轄施行シ其方法ハ以下定ムル所ニ依ル

第三項 國縣里道ノ修繕ハ之ヲ平常臨時ノ二途ニ區分シ平常修繕ハ行運ノ繁閑ヲ量リ

常人夫ヲ配置シ之ヲ負擔セシメ臨時修繕ハ其都度目論見ヲ付シ施行ス

第四項 道路取擴ケ及橋梁港灣溝渠石垣ノ修築ハ其必要ニ從ヒ起工スルモノトス

第五項 湊川堤防ノ修築ヲ要スルト認ムル并ハ連帶町村費ヲ納付セシメ之レカ施工ヲ爲ス

●兵庫縣告示第七十一號(土) 明治廿一年六月一日

河港道路堤防溜地溝渠等新築變更出願ノ節添付スル潰地調書ニハ其反別而已記載シ地價地租ハ自今記載ヲ要セス

但明治十七年甲第六十五號布達書式中地價地租トアル廉ハ取消ス

地 理

●兵庫縣令第六十三號(勸) 明治廿一年四月廿八日

山野火入取締規則左之通り相定ム  
但明治十一年(二月)本縣甲第十九號及ヒ同十二年(十一月)甲第七十三號布達ハ廢止ス

山野火入取締規則

第一條 山野ニ火入ヲナサント欲スル者ハ左ノ各項ヲ具シ其期日ヨリ十五日以前ニ郡區長ニ出願認可ヲ受クヘシ

- 一 火入期日
  - 一 箇所限地目段別及字番號
  - 一 四至境界ヲ見ルヘキ實地畧圖(接續地ノ地目官私有ノ別ヲモ記スルコト)
  - 一 防火線ノ幅及其仕方
  - 一 火入番人ノ數
- 第二條 火入ノ認可ヲ得タル者ハ其山野ノ森林原野ニ接シタル境界ニ防火線ヲ設ケ且其森林原野ノ所有者(官林ナルトキハ大小林区署若クハ大林區派出所若クハ官林巡邏)及所轄警察署又ハ分署ニ少ナクモ火入期日五日以前ニ其旨ヲ報告スヘシ

地 理



山野澤部

本	柱	何	本	數	金	何	程
		全	半		全		
扣	柱	線	全	數	全	全	全
		全	半		全		

右ハ本年民有地電信柱敷地手當金取調候處前記之通相違無之候條御下付相成度候也

年月日

郡(區)長

兵庫縣知事宛

●兵庫縣訓令第七十二號(庶) 明治廿一年五月十二日 郡區役所 戶長役場

明治十九年法律第一號登記法第十六條第十七條第十八條第十九條ニ依リ登記請求ノ場合ニ於テハ同法第四十條ヲ適用スルノ限ニアラサル旨其筋ヨリ訓令相成候條此旨心得ヘシ

●兵庫縣訓令第七十五號(勸) 明治廿一年五月十九日 郡區長 戶長

本年四月縣令第六十三號ヲ以テ山野火入取締規則發布ニ付テハ左ノ通相心得取扱フヘシ

山野火入取締規則取扱心得

一山野火入ノ出願アルトキハ戶長ハ之ヲ調査シ圖面ノ實地ニ適セサルモノハ之ヲ訂正

セシメ防火線ノ幅員及其仕方番人員數等若シ不十分ト思惟スルモノアルハ其旨ヲ示諭變更セシメ或ハ意見書ヲ付シテ郡長ニ進達スヘシ

一郡區長ニ在テ願書ヲ受ケタルハ實地ノ狀況ヲ考ヘ延燒豫防ノ準備充分ナリト認ムルモノニ限り之ヲ許可スヘシ

一延燒豫防ノ準備周到ノモノト雖モ郡區長ニ於テ其山野自然生樹木ノ養成又ハ土砂扨止等ノ爲メ火入ヲナスヲ不利ト思惟スルハ其利害ヲ願人ニ示諭シテ之ヲ止メシムルカ又ハ時宜ニ由リ之ヲ認可セサルヲ得ヘシ

一區長戶長ニ於テハ火入當日ノ風勢番人ノ當否等ニ注意シ時宜ニ依リ實地視察人ヲ出シ若シ延燒ノ虞アリト思量スル場合ニハ直ニ其中止ヲ命スヘシ

郡區役所 戶長役場

●兵庫縣訓令第八十四號(土) 明治廿一年六月一日

河港道路堤防溜池溝渠等新築變更ニ係ル潰地調書ニハ其反別而已記載シ地價地租ハ自今記載ヲ要セス

但明治十九年乙第九十三號達及全二十年訓令第百十五號中地價地租トアル廉ハ取消ス

神戸區役所

●兵庫縣訓令第八十五號(土) 明治廿一年六月五日  
本年縣令第七十八號兵庫濠町通及鍛冶屋町通道幅取擴ニ係ル潰地買上ノ義ニ付今般第



七十五號ヲ以テ及告示候條右代金下渡願出候節ハ其當否ヲ審查シ相當ト認ムルモノハ  
説諭ノ上更正セシメ所見副申スヘシ

●兵庫縣訓令第二百二十七號(土) 明治廿一年九月十三日 郡區長 戶長  
明治十九年八月法律第一號登記法第十八條ニ規定アル民地ヲ官有ト爲シタルトキノ登  
記ハ本法第七條ノ概目ヲ記載セル書面(一筆限仕譯書ニテ第七條ノ概目ヲ詳悉シ得ル  
モノハ該書ヲ添ルモ妨ケナシ)ヲ添ヘ郵便ヲ以テ請求シ得ル儀ト心得ヘシ

○參照

法律第一號登記法第十八條民有ノ地所建物船舶ヲ官有ト爲シタルトキハ其官廳  
ハ第七條ノ概目ヲ示シテ登記ヲ求ムヘシ

●兵庫縣訓令第三百三十號(勸) 明治廿一年十月六日

- 神戸區 八部 武庫菟原 川邊 明石 加古
- 印南 飾東 飾西 揖東 揖西 赤穂 神東西
- 養父朝來 出石氣多 城崎美含 津名

郡役所

民有地内ニ建設ノ電信柱敷地手當金請求之儀ハ自今其年一月ヨリ十二月迄ノ分取纏メ  
翌年一月二十日限り差出スヘシ

神戸區

●兵庫縣告示第七十五號(土) 明治廿一年六月五日  
本年縣令第七十八號神戸區湊山通及鍛冶屋町通道幅取擴ニ係ル潰地之義ハ地券面記載  
ノ價格ヲ以テ可買上管尤モ其實價ニ懸隔アルモノハ最近地賣買代價ニ比準シ増減スル  
アルヘシ仍テ潰地トナリタル時ハ別紙書式ニ據リ尙ホ實況圖面相添ヘ代金下渡及地種  
編換方願出ヘシ

(別紙)

「ハ朱

「地券面ノ地價ヲ以テ買上ニ係ル願書式 用紙半紙野」

道敷潰地代金下渡并地種編換願

畿津國神戸區兵庫何町何番地

宅地々坪何程ノ内  
地價金何程

一潰地々坪何程

此地價金何程

但壹坪ニ付  
金何程

「最近地賣買代價左ノ如シ(何年何月賣買ノ分)」

「何町何番地」

「宅地々坪何程」

「此地價金何程」

「此賣買代金何程」

「但壹坪ニ付  
金何程」

右者私所有之處今般道敷潰地ト相成候ニ付前記券面價格ヲ以御買上之上代金下渡并地種編換相成度別紙圖面相添此段奉願候也

何國何區何町何番地  
何郡何村何番地

年號月日

何 某 印

(區長與印)

兵庫縣知事宛

「最近地賣買代價ニ比準スル願書式用紙全前」

道敷潰地代金下渡并地種編換願

攝津國神戸區兵庫何町何番地

宅地々坪何程

地價金何程

一潰地々坪何程

此地價金何程

但壹坪ニ付  
金何程

「最近地賣買代價左ノ如シ(何年何月賣買ノ分)」

「何町何番地」

「宅地々坪何程」

「此地價金何程」

「此賣買代金何程」

「但壹坪ニ付  
金何程」

右者私所有之處今般道敷潰地ト相成然ルニ券面ノ價格ハ實價ト懸隔有之ニ付最近地賣買代價ニ比準シ前記金員ヲ以御買上之上代金御下渡并地種編換相成度別紙圖面相添此段奉願候也

何國何區何町何番地  
何郡何村何番地

何 某 印

年號月日

(區長與印)

兵庫縣知事宛

●兵庫縣告示第九十三號(勘) 明治廿一年八月四日

燒畑ト稱シ山野ノ一部ニ於テ火入ヲナサントスルモノハ本年縣令第六十三號山野火入取締規則ニ準據スル儀ト心得ヘシ

●兵庫縣告示第二百二十七號(勘) 明治廿一年十一月廿九日

今般内務省令第九號ヲ以テ土石堀取規則廢止セラレ候ニ付テハ自今官有土石ハ數量ニヨリ公賣若クハ相當代價ヲ以テ拂下候條此旨相心得若シ其試堀ヲナサントスルモノハ一年以内ノ期限ヲ以テ願出可シ

○參照

兵庫縣告示第五十號(廿二年三月卅日)

客年十一月本縣第百二十七號告示官有土石拂下又ハ試堀ノ義官林ニ係ルモノハ兵庫大林区署へ願出ツヘシ

勸業

●兵庫縣令第四號(勸) 明治廿一年一月十四日  
農商務省令第四號茶業組合規則ニ據リ設置スヘキ組合及聯合會議所ハ本年二月二十九日迄ニ之ヲ設ケ其規約ノ認可ヲ受ヘシ

●兵庫縣令第二十號(勸) 明治廿一年二月二日  
牛馬市場取締規則左ノ通相定ム

但從前許可ヲ得タルモノト雖此際更ニ出願スヘシ

牛馬市場取締規則

第一條 此規則中牛馬市場ト稱スルハ時日ヲ定メ牛馬及賣買主ヲ集合シ取引スル公場

總稱ス

第二條 牛馬市場ヲ開設セントスルモノハ左ノ事項ヲ明記シ所轄警察署ヲ經由シテ本

廳へ出願許可ヲ受ケヘシ

但取締上及土地ノ狀況ニ據リテハ許可セサルコトアルヘシ

一定市場、定期(開閉日ヲ記スヘシ臨時市場亦同シ)市場、臨時市場ノ別

一市場位置及畧圖

一賣買牛馬ノ種別(當才牝牡犢駒又ハ二歳以上ノ牝牡牛馬等)

一賣買法(糶賣買、定價賣買、相對賣買、等)

一市場ニ關スル規程

- 第三條 市場開設主ハ丁年以上身元相應ノ者ニシテ其郡區内ニ居住シ曾テ盜罪詐偽取財及賭博犯ノ處分ヲ受ケシコトナキ者ニ限ルヘシ
- 第四條 市場ハ人家ノ稠密ナル處ヲ避ケ相當ノ場所ヲ區畫シ繫場ハ牛馬ノ健康ヲ害セサル様相當ナル手當ヲナスヘシ
- 第五條 賣買時間ハ日出ヨリ日沒迄ノ間ニ限ルヘシ
- 第六條 市場ニ於テハ牛馬賣買營業者ニ非スト雖自己使用ノ牛馬ヲ購求シ又ハ賣拂コトヲ得セシムヘシ
- 第七條 市場及繫場等ハ不潔ナキ様鄭重ニ掃除スヘシ
- 第八條 糶主又ハ賣主ハ其牛馬ノ產地種類年齡及惡癖疾病等ノ詳ナルモノト否トヲ區別シ其詳ナルモノハ證明書ヲ付與スヘシ
- 第九條 市場開設主ハ入市及賣買濟牛馬ノ頭數金額時價等ヲ別紙雛形ニ據リ明記シ閉市後(定市場ハ每翌月)十日以内ニ本廳へ届出ヘシ
- 第十條 市場整理ニ關スル一切ノ事ハ市場開設主其責ニ任スヘシ
- 第十一條 開市中ハ時々獸醫ヲシテ牛馬疾病ノ有無ヲ檢査セシムヘシ
- 第十二條 牛馬傳染病アル場合ニ於テハ閉市ヲ命スルコトアルヘシ
- 第十三條 開市中ハ警察官吏又ハ主務官吏臨時出張シ賣買實況ヲ調査スルコトアルヘシ

第十四條 此規則第二條第四條第五條第七條ニ違背シ又ハ第八條ニ於ル牛馬ノ產地種類年齡ヲ詐リ若クハ惡癖疾病ヲ隱蔽シタルモノハ違警罪ヲ以テ論シ二日以上五日以内ノ拘留又ハ五十錢以上一圓五十錢以下ノ科料ニ處セラル、ノ外尙ホ其情狀ニヨリ閉市セシムルコトアルヘシ

- 何々(牛)(馬)市場賣買頭數御届
- 一開市 何月何日
- 一閉市 何月何日
- 一賣買(牛或ハ馬) 何頭

内譯

合	同	同	國	產	地種	類年	年	齡	市		平均	最高	最低
									頭數	價			
			郡牛(馬)			當	歲	牝	牝	入			
						二	歲	牝	牝				
						三	歲	牝	牝				
						以上		牝	牝				
計								牝	牝				

右之通ニ付此段御届仕候也

何國何郡(區)何町(村)  
何々牛馬市場開設主

年號月日

何 某 印

奥書

何村外何ヶ町村

戸長何 某 印

或ハ

區長何 某 印

兵庫縣知事宛

●兵庫縣令第六十四號(勸) 明治廿一年五月六日

播磨國明石郡地先海面東ハ同郡林、松江兩村境ヨリ淡路國津名郡富島村見通シ西ハ播磨國加古明石兩郡境ヨリ淡路國津名郡垂井村(舊江井浦)見通シ南ハ字鹿ノ瀬以北ノ間ニ於テ馬刀貝漁業規則左ノ通定ム犯スモノハ違警罪ヲ以テ論シ一日以上三日以下ノ拘留ニ處シ又ハ廿錢以上壹圓貳拾五錢以下ノ科料ニ處ス

一馬刀貝漁場ハ全般ヲ三分シ其一分ハ從來ノ慣行ヲ以テ毎年順環捕獲ヲ許ス

但シ本場區域及着手ノ順序ハ豫シメ本廳ノ許可ヲ受クハシ

一毎年七月一日ヨリ十一月三十日迄馬刀貝捕獲ヲ禁ス

●兵庫縣令第六十九號(勸) 明治二十一年五月十二日

明治十九年(八月)縣令第五號中警察署ノ三字ヲ刪除シ郡區役所ノ四字ヲ插入ス及明治二十年(三月)縣令第百十七號船燈信號器監查規則第一條中警察ノ二字ヲ刪除ス

●兵庫縣令第七十號(勸) 明治廿一年五月十二日

明治十九年(八月)縣令第六號左之通改ム  
船燈(檣燈船燈)并ニ發火信號器(星火ヲ發スル榴彈或ハ火箭信號焰管及轟彈)ヲ受賣セントスルモノハ其願書ヲ所轄郡區役所ヲ經本廳ヘ差出スヘシ(廿一年六月縣令第八十九號ヲ以本文ノ通改正)

●兵庫縣令第七十三號(勸) 明治廿一年五月十九日

明治十七年(三月)甲第廿五號布達ヲ廢止ス

○參照

明治十七年甲第廿五號ハ茶業組合準則ナリ

(非現行)

●兵庫縣令第七十四號(勸) 明治二十一年五月廿三日

明治十八年(四月)本縣甲第二十五號布達種牡牛馬取締規則左之通改正ス

(明治廿四年九月縣令第七十七號ヲ以テ改正)

種牡牛馬取締規則

第一條 種牡牛馬ノ種用ニ供セントスル者ハ此ノ規則ヲ遵守シ別紙第一號書式ニ照準毎  
檢查期ノ前月迄ニ本廳ニ願出檢查ヲ受ク可シ

(明治廿二年縣令第九十六號全第百一十一號廿四年全第七十七號參看)

第二條 種牡牛馬ハ左記各項ニ適合スルモノニ限ル

一 遺傳病及惡癖ナク強壯ニシテ骨格善長ノモノ

一 牛ハ滿二歲以上滿十歲以下馬ハ滿三歲以上滿十六歲以下ノモノ

但洋種(洋和雜種ヲ除ク)牛馬ハ此ノ年齢ヲ超ユルモ妨ケナシ

一 馬ハ丈四尺五寸牛ハ但馬丹波ニ於テハ四尺攝津播磨淡路ニ於テハ三尺八寸以上ノ

モノ

但体格最モ良ナルモノハ此ノ丈ニ達セサルモ特ニ許可スルコトアルヘシ

第三條 前條各項ハ開業獸醫ノ鑑定書ヲ受ケ願書ニ添付スヘシ

第四條 種牡牛馬ハ毎年三回四月ヲ檢查期トナシ官吏ヲ出張セシメ檢查ノ上合格ノモ

二月  
六月

ノハ別紙第二號書式ノ免許證ヲ下付スヘシ(廿二年縣令第十號ヲ以テ本條ヲ通改正)

第五條 既ニ許可ヲ得タルモノト雖モ本則第二條第二項ノ年齢ニ超ユルカ又ハ疾病ノ

爲メ衰弱シ或ハ惡癖ヲ生シタルトキハ種用ニ供スヘカラス

但シ一時ノ疾病若クハ疲勞ニ罹リタルトキハ元氣全ク回復スル迄ハ交尾ニ使用ス

ヘカラス

第六條 種牡牛馬ノ交尾ハ一日三回ヲ超エシムヘカラス

第七條 既ニ許可セシモノト雖モ臨時檢查シ更ニ本則第二條第一項ニ相當セサルヲ發

見スルカ又ハ第五條ニ該當スト認ムルトキハ其免許證ヲ引上クルコトアルヘシ

第八條 免許證ヲ得タルモノハ別紙第三號書式ニ準シ記載シタル表札ヲ戶外ノ看易キ

所ニ掲クヘシ

第九條 種牡牛馬所有者ハ適宜簿冊ヲ製シ孳尾セシ牝牛所有者ノ住所氏名頭數等ヲ記

載シ置毎年十二月限リ別紙第四號書式ニ準シ其頭數ヲ本廳ニ届出ヘシ

第十條 種牛馬ノ使用ヲ廢スルカ又ハ死亡セシトキ或ハ他府縣下ニ賣却讓與シタルト

キハ直チニ免許證ヲ返納スヘシ

第十一條 種牡牛馬ヲ賣買讓與シタル片ハ双方連署シ前免許證ヲ添其書換ヲ願出ヘシ

第十二條 免許證ヲ毀損シ或ハ紛失セシ片ハ其理由ヲ詳記シ保証人連署シ毀損ノ分ハ

之ヲ添付シ再渡ヲ願出ヘシ

(別紙)

第一號書式 (願書ハ一通ヲ作り戸長與書ヲ得テ直ニ本廳ニ差出スヘシ)

種牡(牛)(馬)御許可願

一 種類 何種(牛)(馬) (洋種牛ハ短角種デボン種等洋馬ハ乘用何種農用何種等雜種ハ洋和何回雜種等ヲ記スヘシ)

一 產地 何國何郡區町村又ハ何牧場

一 出生 何年月生

一 毛色 何毛

一 寸尺 何尺何寸

一 畜場 何郡區町村又ハ何牧場(現ニ交尾ニ使用スヘキ地ヲ云)

右種牡(牛)(馬)ニ使用仕度候間免許證御下付相成度別紙開業獸醫鑑定書ヲ添ヘ奉願候也

年月日

何郡區町村番地

氏名印

兵庫縣知事宛

第二號書式

免許證

兵庫縣何郡區町村

飼養主 何 某

何種牡(牛)(馬)

何年何月生何毛何尺何寸

右合格ニ付種牡(牛)(馬)ニ用ユルコトヲ許ス

年月日

兵庫縣印

(第三號書式)

表札

第何號

郡區町村

用材板

○何種牡(牛)(馬)

持主 氏名

縱一尺五寸  
横六寸

何年何月許可

(第四號書式)

種牡(牛)(馬) 孳尾頭數御届  
第何號免許種牡(牛)或孳尾(種牡牛馬ノ異ナル毎ニ各別ニ列記スル)

勸業

郡名	年齢							計
	何郡	何郡	何郡	何郡	何郡	何郡	何郡	
計								

右何年何月ヨリ何月ニ至ル孳尾牝(牛)(馬)頭數前書之通りニ付及御届候也

年月日

郡區町村番地

種牝(牛)(馬)持主 氏名

兵庫縣知事宛

●兵庫縣令第七十六號(庶) 明治廿一年五月廿三日

明治十八年(八月)甲第七十四號布達漁業採藻取締規則中營業取締人ヲ設置スルトセザルハ自今地方ノ便宜ニ任ス

●兵庫縣令第八十九號(二) 明治廿一年六月廿二日

本年(五月)縣令第七十號中(烟火室外ニ於テ燃受賣セントスルモノハ其願書ヲ所轄警察署ニ差出シ)ノ三十六文字ハ本年(六月)縣令第八十四號烟火取締規則實施ノ日ヨリ刪除ス

○兵庫縣令第九十九號(勸) 明治廿一年八月十四日

澗川流域ニ關スル諸山土砂扞止ノ爲メ川邊郡内左ノ村々諸山ニ於テ諸作業ヲ爲サントスルモノハ左ノ通相心得本廳ニ(官林ニ係ルモノハ兵庫大林區署ニ)出願許可ヲ受クヘシ

但明治十三年本縣丙第八號同十八年丙第六十二號布達ハ廢止ス

澗川流域關係地區 (明治廿二年縣令第五百五號ヲ以テ地區本文ノ通改正)

川邊郡長尾村ノ内

一平井村ノ諸山

一山本村地内ニテ左記ノ字番地(山本村ヨリ川西村ノ内久代)ヨリ北東部ノ諸山村ニ達スル道路ヲ堺トシ

○字成亥垣内三十番、二十八番、二十七番、二十六番、二十四番、四十番、三十九番、三十八番

○字西垣内一番、二番、十三番、十一番、十四番、二十四番

○字南垣内三番、二番、一番、十二番

○字北畑、十二番、十一番、十番

○字五ノ坪一番、二番、七番、五番、三番、四番、二十六番、二十三番、二十五番、二十二番、二十一番、二十番、十八番、十七番

○辻久四十一番、三十九番、三十八番、三十七番、三十六番、三十五番、三十四番、三十三番



三番、四十四番、三十二番、三十一番  
 ○字才ノ本一番、三十二番、五番  
 ○字堂田一番、二番、八番、十番、十一番、十二番  
 ○字縁ノ前一番、六番、七番、八番、十番、十一番、十二番、三十一番、三十二番  
 全郡西谷村ノ内

一元寺畑村飛地并ニ元平井村飛地ノ諸山  
 一切畑村地内左ノ諸山

○字向井山一番ノ四ノ内西ヨリ東向キノ尾通リヲ界トシ其南部ノ諸山

○字檢見山一番ノ一、及二番、ヨリ以東(北ヨリ南向キノ尾通リヲ界トシ)ノ諸山

○字長尾山北ヨリ南向キノ尾通リ長尾村ノ内山本村境ニ至ル迄ヲ界トシ  
 左記番地ヨリ北東部ノ諸山

字長尾山十九番ノ内、七番ノ一ノ内、七番ノ十六、七番ノ十五、七番ノ二十四、七番ノ二十五、七番ノ二十六、七番ノ七十五、七番ノ七十四、七番ノ四十ノ内、七番ノ六十五、七番ノ六十四、七番ノ五十七  
 一長谷村地内左ノ諸山

○字道谷山北向キノ尾通リヲ界トシ左記番地ヨリ北東部ノ諸山

字道谷六番ノ二、六番ノ三、六番ノ八、六番ノ十、六番ノ十一、九番ノ九、九番ノ五、九番ノ六、九番ノ七、六番ノ九

○字イヤ谷小畑山南向キノ尾通リ六瀬村ノ内木津村境ニ至ル迄ヲ界トシ左記ノ番地ヨリ西南部ノ諸山

字イヤ谷小畑山一番ノ一、一番ノ二、一番ノ三、一番ノ四、一番ノ四ノ一、一番ノ八  
 ○字イヤ谷小畑山南向キノ尾通リ六瀬村ノ内木津村境ニ至ル迄ヲ界トシ左記番地ヨリ東南部ノ諸山

字イヤ谷小畑山一番ノ六十五、一番ノ六十六、一番ノ六十七、一番ノ六十八、一番ノ六十、一番ノ五十四、一番ノ五十、一番ノ四十八、一番ノ四十七、一番ノ四十四、一番ノ四十五、一番ノ四十三、一番ノ四十二、一番ノ四十、一番ノ三十九、一番ノ三十八、一番ノ百十一

○字田尻畑谷山南向キノ尾通リヲ界トシ左記番地ヨリ南東部ノ諸山

字田尻畑谷山一番、一番ノ二、一番ノ四、字イヤ谷小畑山八番ノ二

○字大日山南向キノ尻通リヲ界トシ左記番地ヨリ東南部ノ諸山

字大日山一番、一番ノ一  
 一下佐曾利村地内左ノ諸山

○字大谷山北ヨリ南向キノ尾通り長谷村へ通スル道路迄ヲ界トシ左記番地ヨリ東部ノ諸山

字大谷山一番、一番ノ三、一番ノ六

○字椿谷山北ヨリ南向キノ尾通り長谷村境ニ至ル迄ヲ界トシ左記番地ヨリ東部ノ諸山

字椿谷山壹番ノ廿六、一番ノ四十七、一番ノ四十九、一番ノ四十八、

一上佐曾利村地内左ノ諸山

○字中山西ヨリ東向キノ尾通り六瀬村ノ内笹尾村境ニ至ル迄ヲ界トシ左記番地ヨリ北東部ノ諸山

字中山三番ノ四、二番ノ六、二番ノ八、二番ノ九、二番ノ十六

○字谷口山并ニ今井山トモ北ヨリ南向キノ尾通り下佐曾利村境ニ至ル迄ヲ界トシ左記ノ番地ヨリ東部ノ諸山

字谷口山三番、字今井山一番、一番ノ二

全郡六瀬村ノ内

一槻並村、萬善村、木津村、木間生村、枋原村、林田村、笹尾村、清水村、清水東村、仁頂寺村、鎌倉村、島村、杉生村、西畑村及諸山

一柏原村地内左ノ諸山

○字尾野嶽山一番ノ内尾通り杉生村境ニ至ル迄ヲ界トシ其西南部ノ諸山

○字西ノ山一番ノ内尾通り有馬郡小野村ノ内小柿村境ニ至ル迄ヲ界トシ其東南部ノ諸山

全郡川西村ノ内

一榮根村、加茂村、寺畑村、小戸村、出在家村、瀧山村、火打村、萩原村ノ諸山

全郡多田村ノ諸山

全郡東谷村ノ諸山

全郡中谷村ノ内北野村ヲ除キ其他ノ諸山

(参照)

○廿一年縣令第百號ヲ以テ本縣令ニ違背スルモノ違警罪目追加(警察ノ部ニアリ)

●兵庫縣令第百二十九號(勸) 明治廿一年十二月八日

船舶繫留等ノ爲メ棧橋又ハ埠頭ニ航路標識條例ニ依ラサル標識ヲ設置セントスルトキハ自今左ノ手續ニ依ルヘシ

但從前設置ノ分ハ其要旨及設置ノ年月ヲ記載セシ書面ニ第一項第一第二ノ書類及圖面ヲ添付シ來ル明治三十二年一月限當廳へ届出ヘシ

一 標識ヲ設置又ハ變更セントスル片ハ其要旨ヲ記載セシ願書ニ左ノ書類及圖面ヲ添付シ當廳ハ願出ヘシ

第一 標識設置ノ位置及近傍地圖

第二 標識圖面及其構造方法

一 其設置ヲ許可セシ標識ト雖モ若シ航路ニ障礙アリト認ムル片ハ變更又ハ撤去ヲ命スルヲアルヘシ

一 標識ヲ停止若クハ廢止スル片ハ其旨當廳ヘ届出ヘシ

●兵庫縣令第四百十四號(勸) 明治廿一年十二月廿八日

漁業組合準則左之通相定ム

漁業組合準則

第一條 漁業(水産動物採捕ヲ併稱ス)ニ從事シ組合ヲ設ケ規約ヲ作ルモノハ本則ニ依リ當廳ノ認可ヲ請フヘシ

第二條 組合ハ營業ノ弊害ヲ矯正シ利益ヲ增進スルヲ目途トスヘシ

第三條 組合ハ左ノ二類トス

第一類 捕漁採藻(遠海漁業若クハ大地引籠網捕鯨鯨魚昆布採收ノ類)各其種類ニ從ヒ特ニ組合ヲナスモノ

第二類 河海湖沼沿岸ノ地區ニ於テ各種ノ漁業ヲ混同シテ組合ヲナスモノ

第四條 前條第二類ノ漁業ニシテ漁場ノ相連帶スルモノハ必ス一組合トナスヘシ

第五條 組合ノ規約ニ掲クヘキ事項ハ左ノ如シ

- 一 組合ノ名稱及事務所ノ位置
- 二 組合ノ目的

三 役員選舉法及權限

四 會議ニ關スル規程

五 加入者及退去者ニ關スル規程

六 違約者處分ノ方法

七 費用ノ徴収及賦課法

八 捕魚採藻ノ季節ヲ定ムル

九 漁具漁法及採藻ノ制限ヲ立ル

十 漁場區域ニ關スル

十一 蓄積金ニ關スル事

十二 前各項ノ外組合ニ於テ必要トナス事項

第六條 組合ハ規約ヲ更正シ若クハ其組合ヲ分立合併セントスル片ハ當廳ノ認可ヲ請

フヘシ  
 第七條 組合ハ聯合會ヲ設ケ其規約ヲ作り若クハ之ヲ更正セントスル片ハ當廳ノ認可ヲ請フヘシ  
 第八條 二府縣以上ニ渉ル組合及聯合會ノ規約ハ交渉管轄廳ヲ經テ農商務省ノ認可ヲ請フヘシ  
 但規約ヲ更正シ若クハ其組合ヲ分立合併セントスル片モ亦本條ニ準スヘシ

○參照

明治廿三年縣令第二十號ヲ以テ組合區域内ニ於テ慣行ニ依リ入會漁業ヲ爲スモノハ縣ノ内外人ヲ問ハズ規約ニ從フヘキ件定アリ

●兵庫縣訓令第八號(勸) 明治廿一年一月十九日

郡區役所

自今左記ノ鑛物日本坑法第三款所屬トシテ取扱候條從前試堀并ニ借區ノ許可ヲ得タル者ハ此際該券返納セシムヘシ

但官有地ニシテ繼續營業致度者ハ明治十年(十月)内務省甲第廿一號布達ニ照準更ニ

出願許可ヲ受クヘキ様取計フヘシ

寒水石(大理石)

斑石(温石)

燧石

硝子石

蠟石

●兵庫縣訓令第十四號(勸) 明治廿二年二月四日

郡區役所

明治三十年一月ヨリ十二月ニ至ル水産物取調之義今回農商務大臣ヨリ達セラレ候ニ付別紙様式ニ依準シ調査ヲ遂ケ來ル四月十日限り當廳ヘ差出スヘシ

水産物統計表調査心得書

- 一 此統計ハ明治二十年ノ收穫高ヲ掲グルモノトス
- 一 此統計ハ一村(町、浦)、一郡(區)ノ二様ニ區別スヘシ  
例セハ煎鱒ノ如キハ其煎上ケノ數量ヲ記載セスシテ生鮮ナル片ノ數量ヲ掲グルノハ總計ヲ掲記スヘシ
- 一 本表數量ノ部ニハ箇數、斤數ヲ並記スヘシ  
但シ小鱒、鯉等ノ如キ細小ノ魚介ニシテ箇數ノ算シ難キモノハ換ユルニ容量ヲ以テスヘシ
- 一 此統計ニ掲グル品名ニハ悉ク傍訓ヲ付スヘシ
- 一 様式中漁戶、漁人、漁舟ノ三箇ヲ掲グルモノハ其收穫ニ比例シ漁利ノ多少ヲ別タンカ爲メナリ
- 一 但シ漁戶、漁人、漁舟ハ明治二十年十二月三十一日ノ現在ヲ掲グルモノトス
- 一 前項漁人ト稱スルハ漁家中男女ヲ問ハズ實際漁業ニ從事スルモノヲ云フ
- 一 此統計ノ調査ハ飽マテ精密ナルヲ要ス故ニ雜魚、雜介、雜藻等ノ名稱ヲ少ナクシ成ル

ヘク現品ヲ明記スヘシ  
 一收獲物ノ統計ハ毎戸ニ就キ之ヲ調査スルヲ本旨トスレトモ若シ右ノ手數行ハレ難キ事情アレハ其村(町、浦)ノ大小ニ應シ十戸若クハ十五戸宛一名ノ委員ヲ設ケ之ヲ公評ニ付スルモ妨ケナシトス  
 一凡統計ハ明確ヲ要スルハ勿論ナルニ往々事實ヲ失ヒ數量及代價相當ナラス或ハ誤字違算等アリ此等再調ノ爲メ徒ラニ日子ヲ費ス少ナカラス宜シク精々注意シ此等ノ不都合ナキ様取計フヘシ

甲號第一 海水產物統計表

何郡(區)何村(町、浦)

品目	數量		代價	價
	箇數	斤量		
鯛				平均一個一斤ノ價
尾				一個ニ付
斤				一斤ニ付
圓				圓

漁戶 專業……………戸  
 兼業……………戸  
 漁人 專業……………人  
 兼業……………人  
 漁舟……………隻  
 合計……………戸  
 合計……………人

平均配當	漁戶	漁人	兼業	合計
漁戶一戸ニ付金……………厘				
漁人一名ニ付金……………厘				
合計				

品目	漁舟		代	價	平均一箇一斤ノ價
	箇數	量			
鯛					
鱸					
蛤					
何々					
同					
同					
同					
同					
同					
同					
同					
合計					

漁舟

平均配當 漁戸一戸ニ付金 漁人一人ニ付金

(乙號第一) 淡水何川(池、沼)産物統計表

何郡(區)何村(町)

品目	漁舟		代	價	平均一箇一斤ノ價
	箇數	量			
鯉					
鮒					
何々					
同					
合計					

漁舟

漁戸 專業  
漁人 專業兼業

合計

平均配當 漁戸一戸ニ付金 漁人一名ニ付金

一本表ハ一川一池、沼毎ニ別表トスヘシ  
但シ一村(町)ニシテ漁業數川(池、沼)ニ跨リ其戸口舟數雙方ニ關係スル場合ニ於テハ其主ナル方ニ算入シ主ナラサル方ヘハ其數ヲ朱記シテ參照ニ供スヘシ

(乙號第二) 淡水産物統計表







一純益金積立金割賦金及ヒ株金ニ對スル割賦金ノ割合

●兵庫縣訓令第九十七號(勸) 明治三十一年六月二十三日 郡區役所

明治十九年(二月)乙第二十六號達廢止ス

○參照

十九年乙第二十六號ハ西洋形船舶航海及碇泊記事差出方ナリ

●兵庫縣訓令第七十七號(庶) 明治三十一年五月廿三日 郡區役所 戶長役場

明治十九年(二月)乙第二號水產收穫調達ハ廢止ス

●兵庫縣訓令第九十六號(勸) 明治三十一年六月十九日 郡區長

各地方私立銀行銀行類似會社ノ設立近來大ニ増加候ニ付テハ其營業ノ如何ハ財政上頗ル注意ヲ要スル義ニ付自今毎季決算ノ際損益勘定ノ割合其他半季間營業ノ要計等別紙項目ニ準シ記載シタル報告書(每半季營業報告書即チ考課狀ノ類ヲ調製シ株主へ配賦スル向ハ別段新調ゼシメス其報告書ヲ差出サシムルヲ要ス)私立銀行ハ二通類似會社ハ一通差出サシメ毎年(一月十五日七月十五日)限り之ヲ取纏メ當廳へ差出スヘシ但本支店若クハ分店出張所等各自所在地ニ於テ差出サシムル義ト心得ヘシ

報告書ニ記載スヘキ項目

一現拂込ノ資本金及ヒ積立金高(前期迄ニ積立タル高)

一支店若シクハ分店(若シ之レアレハ)ノ箇所及位地  
一半期間ノ入金額及出金額

●兵庫縣訓令第百十三號(勸) 明治三十一年八月二日 郡區役所

多可、神東西、安栗、養父朝來、出石氣多、城崎美合、七美二方、氷上、多紀ノ九郡役所ヲ除ク

明治廿年八月訓令第百七十七號中近隣ノ組合ノ下「若クハ蠶絲業組合取締所」ノ十一字ヲ削除ス

●兵庫縣訓令第百二十八號(勸) 明治三十一年九月十五日 郡區役所 縣立學校

明治二十一年(四月)本縣第五十六號ヲ以テ約束郵便物報告方ノ義訓令候處右ハ自今左ノ様式ニ倣ヒ每一箇年度分(會計年度)取纏メ翌年四月十五日限り第一部勸業課へ報告スヘシ

但本年度ハ十月以降本文ニ準シ取纏メ報告スヘシ  
(様式)

明治何年度分約束郵便物數報告書

種	類	箇	數	量	目
第	一				

勸業



第二條 前條標識ノ位置ヲ變更セントスルトキハ第一項ノ書類又其性質ヲ變更セントスルトキハ第二項ノ書類ヲ具シ當廳へ願出ヘシ

第三條 航路標識ヲ設置シ若クハ其位置又ハ性質ヲ變更シ或ハ之ヲ停止若クハ廢止スルトキハ其實施期限ヲ定メ凡ソ一ヶ月前當廳へ報告スヘシ

●兵庫縣訓令第五百一十一號(勸) 明治十一年十二月十二日 區長 戶長  
諸鑛山借區并試掘廢業願出ノ者アルルハ日本坑法第六章第廿七款ニ照準シ廢坑跡危害無之様手當セシヤ否ヲ調査シ其旨副申スヘシ

●兵庫縣告示第八號(勸) 明治十一年一月十九日  
鳥取縣ニ於テ本月縣令第三號ヲ以テ左ノ趣令達セシ旨通知アリ本縣下漁民ニシテ該地方ニ出漁スルモノハ此旨心得ベシ

漁業組合設置ノ漁場ニ於テ縣内外人ヲ問ハス組合外ノモノ從來ノ慣行特約ニ依リ漁業(採介採藻トモ)スルルハ其組合規約ニ遵フヘシ  
漁業組合設置ノ漁場ニ於テ遊樂若クハ自用ノ爲メ魚介藻ヲ採取スルモノハ其組合規約ニ定メタル制限禁止ヲ破リ漁撈採藻ヲ爲スヘカラス

●兵庫縣告示第十一號(勸) 明治十一年一月十八日  
第三回關西府縣聯合共進會規則及ヒ出品人心得別冊ノ通之レヲ定ム

第三回關西府縣聯合共進會規則(別冊略ス)

(參照)

明治廿四年告示第五十六號ヲ以テ第四回關西聯合府縣共進會規則アリ

●兵庫縣告示第二十二號(勸) 明治十一年二月十五日

高知縣ニ於テ本月縣令第十號ヲ以テ左ノ趣令達セシ旨通知アリ本縣下漁民ニシテ該地方ニ出漁スルモノハ此旨心得ベシ

漁業組合設置ノ漁場ニ於テ縣内外人ヲ問ハス渾テ漁業(水產物動植物採捕ヲ併稱ス)ヲ營ムモノハ其地組合同規約ニ遵フヘシ  
漁業組合設置ノ漁場ニ於テ遊樂若クハ自用ノ爲メ捕魚採藻ヲナスモノハ其地組合同規約ニ定メタル禁止制限ノ事項ヲ遵守スヘシ

●兵庫縣告示第三十六號(勸) 明治十一年三月十六日

今般大阪府下大阪灣沿海西成住吉ノ二郡其他全灣ニ於テ漁業ヲナス近傍郡區全業者申合大阪港灣漁業組合ヲ設ケ其規約ヲ作り出願セシニ依リ同府廳ニ於テ之ヲ認可セシ旨通知アリ就テハ自今該漁場ニ於テ漁業ヲナスモノハ總テ組合ニ加入スヘキ筈ニ付該地方へ出漁スルモノハ此旨心得ヘシ

●兵庫縣告示第四十一號(勸) 明治廿一年四月二日

今般速成獸醫講習所ヲ設置シ其規則別冊ノ通り制定ス

(明治廿四年九月告示第 號ヲ以テ廢止ニ付別冊畧ス)

●兵庫縣告示第四十三號(勸) 明治廿一年四月十日

本年(一月)告示第十一號ニ係ル第三回關西府縣聯合共進會開設ハ九月十日ヨリ十月二十九日マテ日數五十日間トシ規則及出品人心得中ノ期日ハ凡テ十日間操上グ

●兵庫縣告示第四十七號(勸) 明治廿一年四月十三日

山口縣ニ於テ本年三月第三十一號ヲ以テ左ノ如ク令達セシニ付管下漁業者ニシテ該地方へ出漁セントスルモノハ其旨心得ヘシ

本縣各郡ノ沿海ニ於テ縣内外人ヲ問ハス從來ノ慣行又ハ特約ニヨリ水産ノ動植物ヲ採捕スルモノハ其地漁業組合規約ニ定メタル制限禁止ノ事項ヲ遵守ス

●兵庫縣告示第四十九號(勸) 明治二十一年四月十九日

本年(一月)當縣告示第十一號第三回關西府縣聯合共進會規則第一條中十六縣トアルヲ十五縣ニ改メ三重島根ヲ刪除シ鳥取ノ下へ奈良ヲ加入ス

●兵庫縣告示第五十一號(勸) 明治二十一年四月廿六日

一 蠶種鑑札願及種牡牛馬檢査願

願書二道ノ處自今一通差出シ且郡區役所經由ニ及ハス

一 蠶種製造額届

郡區役所經由ニ及ハス

一 鐵山借區並試掘願

願書三通ノ處自今二通差出スヘシ

●兵庫縣告示第六十四號(勸) 明治二十一年五月廿五日

諸市場ニ係ル願等ハ(開設願書ニハ市場見取圖ヲ添ユヘシ)自今定市場ハ縣廳臨時市場(牛馬市場ハ本年縣令第二十號ニ據ル)ハ所轄郡區役所へ差出スヘシ

但市場開設ノ許可ヲ得ルルハ直ニ該市場所轄地ノ警察署又ハ分署へ届出ヘシ

●兵庫縣告示第六十八號(勸) 明治廿一年五月三十日

飾東郡役所商標見本觀覽所ヲ全郡姫路綿町外九十五ヶ町戸長役場ニ移轉ス

●兵庫縣告示第九十號(勸) 明治二十一年七月十八日  
第三回關西府縣聯合共進會へ出品手續ノ義ハ明治二十一年(一月)本縣告示第十一號及同年(四月)本縣告示第四十三號ノ趣モ有之候處綿ニ限リ特ニ延期候條綿出品望ノ者ハ尙夫々左記ノ期限迄ニ無相違縣廳へ差出スヘシ

出品人心得中

第五條ノ概目錄ヲ八月十日限リ

第六條ノ出品目錄ヲ八月二十日限リ

第七條ノ申告書ヲ九月十日限リ

第八條ニヨリ出品ヲ九月廿七日限リ

但第九條ニヨリ輸送スルモノハ九月三十日限リ

●兵庫縣告示第九十一號(勸) 明治二十一年七月廿八日  
本年(一月)本縣告示第十一號及ヒ本年(四月)本縣告示第四十三號第三回關西府縣聯合共進會出品人心得第八條ニ七月三十一日迄トアルヲ八月二十日迄全第九條ニ八月三十一日迄トアルヲ八月廿一日ヨリ同月廿五日迄ノ間ト改ム

●兵庫縣告示第九十五號(勸) 明治二十一年八月十八日

三重縣ニ於テ縣令第四十五號ヲ以テ左ノ趣令達セシ旨通知アリ本縣下漁民ニシテ該地方ニ出漁スルモノハ此旨ヲ心得ベシ  
漁業組合設置ノ漁場内ニ於テ漁業(水産動物採捕ヲ併稱ス)ヲ爲スモノハ他府縣人ト雖モ其地組合同規約ニ從フベシ

●兵庫縣告示第百二號(勸) 明治廿一年九月十一日

明治廿年縣令第廿二號第四條ニ係ル本年蠶種検査所ハ養父郡八鹿村蠶糸業取締所内ニ開設候條左記日割ニ依検査ヲ受クベシ若シ其期限ヲ過クルモノハ検査ヲ爲ササルヘシ  
但馬國各郡  
十月一日ヨリ廿日迄  
其他各郡區  
十月十一日ヨリ卅一日迄

●兵庫縣告示第百九號(勸) 明治廿一年十月十日

明治廿年十月本縣告示第百六十七號ヲ以テ蠶種検査規則第九條ニ據リ廢棄ニ屬セシ原種ヲ更ニ製糸用種ニ轉用ノ心得方告示候處全廿一年三月農商務省令第二號ヲ以テ製糸用種ノ検査ハ當分延期相成候ニ付テハ自今検査上一旦廢棄ニ屬セシ原種ヲ更ニ製糸用種ニ轉用セントスルモノハ検査期中ニ其旨検査所ニ申出廢棄證印ノ取消ヲ乞フヘシ

●兵庫縣告示第百二十八號(勸) 明治廿一年十一月卅日

愛媛縣讚岐國多度郡多度津港浚深費償却ノ爲メ明治九年十一月ヨリ同二十二年十月迄十三ヶ年間入港錢徴入スベキ處去明治十四年六月以後同縣都合ヲ以テ中止セシ殘年限八年五ヶ月ハ本年十二月一日ヨリ來三十年四月三十日迄從前ノ通徴收候旨同縣ヨリ通報アリ

●兵庫縣告示第三百三十號(勸) 明治廿一年十二月七日

本年二月縣令第二十號ニヨリ臨時牛馬市場開設ノ許可ヲ得タル后其開市日ヲ變更セントスル片ハ別段許可ヲ請フニ及ハス候條豫メ其日限ヲ定メ所轄警察署ヲ經テ縣廳ニ届出ツ可シ

但シ日數ヲ増加セントスル場合ニハ更ニ許可ヲ請フ義ト心得ヘシ

●兵庫縣告示第三百三十四號(勸) 明治廿一年十二月十六日

私立銀行並ニ銀行類似會社ニ於テ諸證書ニ押用スル印章ノ義ニ付客年十二月第二百五號及告示置候處爾今適宜役印ヲ押用致シ苦シカラス

●兵庫縣告示第三百三十五號(勸) 明治廿一年十二月十九日

本年(三月)農商務省令第二號ヲ以テ春蠶ノ製糸用種夏秋蠶(夏期及秋期飼育スルモノ)ノ原種及製糸用種ノ檢査施行延期相成候ニ付テハ延期中是等ノ蠶種ヲ製造シ又ハ販賣スルモノハ

明治十九年(八月)同省令第九號蠶種検査規則第一條ノ鑑札ヲ願出又ハ第七條ニ依リ製造額届出ニ及ハサル義ト心得ヘシ

●兵庫縣告示第三百三十六號(勸) 明治廿一年十二月二十日

富山縣射水郡伏木港伏木燈臺燈費本月一日ヨリ西洋形船ニ限リ登簿噸數一噸ニ付金壹錢六厘ニ減額セシ旨同縣ヨリ通報アリ

●兵庫縣告示第三百二十九號(勸) 明治廿一年十二月廿七日

大坂府下安治、木津、尻無、ノ三川ニ於テ各船ヨリ徴收スル入津料左ノ通改正シ來ル明治廿二年一月一日ヨリ施行候旨同府ヨリ通知アリ

小廻船三間ノ部	一艘ニ付	金貳錢
同 四間ノ部	同	金三錢五厘
日本形船五十石以上	十石ニ付	金貳錢八厘
同 百石以上	同	金四錢貳厘
同 百五十石以上	同	金五錢六厘
同 二百石以上	同	金五錢九厘
同 三百石以上	同	金六錢貳厘
同 四百石以上	同	金六錢五厘

勸業



同	五百石以上	同	金七錢五厘
西洋形船	百噸未満	一噸ニ付	金三錢五厘
同	百噸以上	同	金三錢八厘

●兵庫縣告諭第三號(鐵) 明治廿一年十月三十日

山陽鐵道會社ニオヒテ來ル十一月一日ヨリ兵庫明石間列車運轉開業ノ旨届出タリ就テハ万一通行ノ列車ニ危害ヲ與ヘ或ハ線路ヲ横切リ候様ノモノコレアリ候テハ人命財産上不測ノ損害ヲ醸シ容易ナラサル義ニ付心得違ナキ様篤ク注意スヘシ

●兵庫縣告諭第四號(鐵) 明治廿一年十二月廿七日

山陽鐵道會社ニオヒテ明石姫路間延長線路本月廿三日ヨリ列車運轉開業ノ旨届出タリ就テハ本年十月三十日告諭第三號ノ通心得違ナキ様篤ク注意スヘシ

衛生

●兵庫縣令第二十五號(衛) 明治廿一年二月十日  
神戸區中山手通一丁目五十一番屋敷乃至七十番屋敷長屋ニ於テ天然痘患者續々發生尙ホ蔓延ノ傾有之ニ付該長屋ハ本日ヨリ交通ヲ止ム

●兵庫縣令第三十六號(衛) 明治廿一年二月廿四日  
本年(本月)本縣令第二十五號ヲ以テ神戸區中山手通一丁目五十一番乃至七十番屋敷長屋ノ交通ヲ差止置候處本日ヨリ其禁止ヲ解ク

●兵庫縣令第四十五號(衛) 明治廿一年三月廿三日  
明治二十年(二月)本縣令第四十八號氷雪販賣取締規則左ノ通改正シ來ル四月一日ヨリ實施ス

氷雪販賣取締規則

第一條 氷雪販賣者ハ健康ヲ保護スル爲メ設ケタル此規則ヲ遵守スベシ

第二條 氷雪ヲ別テ甲乙二種トシ甲種ハ飲用ニ供スルモノ乙種ハ飲用ニ供セサルモノヲ云フ

第三條 甲乙二種ノ氷雪ハ同一ノ場所ニ貯藏シ又ハ同一ノ店舗ニ於テ販賣スルヲ許サス

但實際本條ニ據リ難キ場合ニ於テハ同一ノ場所店舗タリ且完全ノ中隔ヲ設ケテ甲乙二種ヲ區分貯藏販賣スルヲ得此場合ニ於テハ所轄警察署ノ認可ヲ受クヘシ

第四條 甲種冰雪ヲ卸賣セントスル者ハ其產地貯藏所及量目ヲ明記シ試驗方本廳へ願出其許可ヲ受クヘシ(廿一年縣令第九十二號)(ヲ以テ本條ノ通改ム)

但本文許可ノ冰雪ヲ買受ケ卸賣セントスル者第六條ノ手續ニ依ルヘシ

第五條 前條許可ヲ受ケタル片ハ其願書指令書ノ寫ヲ添ヘ速ニ郡區役所及警察署若クハ分署へ届出ツヘシ

第六條 甲種冰雪ヲ小賣セントスル者ハ賣渡人連署郡區役所及警察署若クハ分署へ届出ツヘシ

但本縣ノ許可ヲ受ケサル冰雪ヲ買受ケ小賣セントスル者ハ卸賣人ニ準シ第四條及第五條ノ手續ヲナスヘシ

第七條 甲種冰雪ハ許可濟ノモノト雖且臨時試驗ヲ施シ其實不良ナル片ハ飲用トシテ販賣スルヲ禁止スヘシ

但シ試驗ニ要スル冰雪ハ無代價ヲ以テ徵收ス

第八條 乙種冰雪ヲ卸賣又ハ小賣セントスル者ハ其產地貯藏所及量目ヲ明記シ賣渡人連署(連署ヲ得カタキ片ハ其事由ヲ詳記シ)郡區役所及警察署若クハ分署へ届出ツヘ

シ

第九條 乙種冰雪ハ行商スルヲ禁ス

第十條 冰雪販賣者ハ左式ノ標札ヲ自製シ郡區役所ノ檢印ヲ受ケ居商ハ店頭ニ行商ハ行商具ニ掲クヘシ

何年月日許可(届)濟
甲(乙)種冰雪販賣
郡區役所檢印
何郡區町村番地
御(小)賣人(御小賣人某雇人又ハ家族)氏名

木材適宜居商ハ堅二尺横八寸行商ハ堅四寸五分横三寸五分

第十一條 冰雪販賣者ハ日々賣渡シタル量目及買受人ノ住所氏名ヲ帳簿ニ記入シ置キ臨時檢査ノ用ニ供スヘシ

但甲種冰雪ノ小賣人ハ此限ニアラス

第十二條 冰雪販賣者ハ許可又ハ届濟ノ冰雪ヲ賣盡シタル片(小賣人ハ其販賣ヲ止メタル片)ハ速ニ郡區役所へ届出第十條ニ據リ調製シタル標札ノ消印ヲ受ケ且警察署若クハ分署へ届出ツヘシ

第十三條 本則第三條第四條第五條第六條第八條第九條第十條第十一條及第十二條ニ違背シタルモノハ違警罪ヲ以テ處分セラルヘシ

●兵庫縣令第四十八號(衛) 明治廿一年三月廿九日

神戸區

區内ニ於テ尿管溜置場ヲ設ケントスル者ハ其場處及構造ノ細圖ヲ添ヘ所轄警察署ヘ届出認可ヲ受クヘシ

但農家自用ノ爲メ田畝間ニ設クルモノハ此限ニアラス

●兵庫縣令第四十九號(衛) 明治廿一年三月廿九日

明治十三年<sup>十一月</sup>甲第七十五號布達飲料水取締規則第三條左ノ通り改正ス

第三條 前條ニ依リ井戸ヲ新設シ又ハ河流等ヲ飲料ニ供セントシ水質良否ノ鑑別ヲ願出ツルニ於テハ試験ノ上其成績書ヲ下附スヘシ  
但試験料トシテ拾錢乃至三拾錢ヲ徴收ス

●兵庫縣令第九十三號(衛) 明治廿一年七月廿一日

本年三月縣令第四十五號冰雪販賣取締規則第四條尤以下二十二字ヲ刪除ス

●兵庫縣令第一百五號(衛) 明治廿一年十月十三日

明治十六年(十二月)當縣甲第八十五號布達廢止ス

(參照)

十六年甲第八十五號布達ハ公私立病院患者表

●兵庫縣令第二百二十號(衛) 明治廿一年十一月廿二日

明治十九年四月本縣甲第六十號布達入齒々採取締規則第一條但書營業セント欲スル片ノ下へ左ノ十三字ヲ挿入ス

又ハ出張所設置セントスル片

●兵庫縣令第三百三十四號(衛) 明治廿一年十二月廿二日

鑛泉營業取締規則別紙ノ通相定ム

但明治十七年甲第六十四號布達鑛泉探酌販賣及浴場開設取締規則ハ廢止ス

(明治廿一年縣令第三百二十五號全第三百二十六號參看)

鑛泉營業取締規則

第一條 鑛泉營業者ハ健康ヲ保護スル爲メ設ケタル此規則ヲ遵守スベシ

第二條 鑛泉營業ヲ別テ左ノ三種トス

一 鑛泉浴場(鑛泉ヲ汲取リ他ニ運搬シテ浴場ヲ設グルモノモ包含ス)ヲ設ケテ他人ノ浴用ニ供スルモノ

一 鑛泉飲用場ヲ設ケテ他人ノ飲用ニ供スルモノ

一 鑛泉ヲ汲取リ飲用トシテ販賣スルモノ

第三條 鑛泉營業ヲ爲サントスルモノハ左ノ各項ヲ詳記シ場所并ニ構造ノ細圖ヲ添ヘ

地主隣地主(他人ノ營業ニ係ルモノヲ探酌スルルハ其營業者)連署本廳へ願出許可ヲ受クヘシ

一 鑛泉名

一 鑛泉所在地名字及近傍ノ地況

一 他ニ運搬シテ浴場ヲ設クルモノハ其地名字番地

一 鑛泉試驗成績 附試驗人ノ氏名

一 醫治効用 附取調人ノ氏名

一 入浴若クハ飲用心得

一 浴場若クハ飲用場構造方法

一 他ニ運搬シテ浴場ヲ設クルモノハ鑛泉ノ分量

第四條 鑛泉浴場若クハ飲用場ノ構造ヲ變更セントスルルハ其構造方法ヲ詳記シ圖面

(變更ニ係ル箇所ヲ朱記シ)ヲ添本廳へ願出許可ヲ受クヘシ

第五條 鑛泉浴場ハ換氣導光方ニ注意シテ構造スヘシ

第六條 鑛泉浴場及飲用場ニハ泉質試驗成績醫治効用入浴若クハ飲用心得ヲ揭示スヘシ

第七條 十歳以上ノ男女混浴ヲ爲サシムヘカラス

但幕湯内湯等ニ於テ一ニ家族若クハ同行者ノ混浴スル等ハ此限りニ非ラス

第八條 鑛泉ヲ汲取リ他ニ運搬シテ浴場ヲ設クルモノハ清潔ヲ旨トシ日々其浴水ヲ更

換スヘシ

第九條 鑛泉浴場及飲用場ノ構内ハ勿論其近傍ノ地ハ特ニ清潔方ニ注意シテ毎日掃除

ヲナスヘシ

第十條 飲用トシテ販賣スル鑛泉ハ其容器ニ鑛泉ノ名稱醫治効用飲用心得及販賣者ノ

住所氏名ヲ記シタル票紙ヲ貼付スヘシ

第十一條 一町村一部落又ハ數人共同營業ニ係ルルハ取締上一切ノ責ニ任スル爲メ互

撰ヲ以テ管理人ヲ定メ其氏名ハ所轄警察署へ届出ヘシ

第十二條 鑛泉營業者廢業轉居又ハ改氏名ヲ爲シタルル若クハ浴場又ハ飲用場ヲ賣買

讓與シタルルハ本廳へ届出ヘシ

第十三條 左ノ各項ニ該當スルモノハ違警罪ヲ以テ處分セラルヘシ

第一 本則第三條第四條第七條第十條第十二條ニ違背シタルモノ

第二 本則第五條第六條第八條第九條ニ違背シ官ノ督促ニ従ハサルモノ

●兵庫縣令第三百三十五號(衛) 明治廿一年十二月廿二日

縣令第三百三十四號ヲ以テ鑛泉營業取締規則發布候處該則第七條ハ從來營業ノ者ニ限り

來ル明治廿二年六月迄猶豫ヲ與フ

但期日ニ到リ尙實施シ難キ事情アルモノハ時間ヲ以テ區別スル等適宜ノ方法ヲ設ケ猶豫年限ヲ定メ認可ヲ請フヘシ

●兵庫縣令第三百三十六號(衛) 明治廿一年十二月廿二日

縣令第三百三十四號ヲ以テ鑛泉營業取締規則發布候處其火力ヲ用ヒ浴水ヲ温ムル者ハ該則ヲ遵守スルノ外明治十九年二月甲第二十六號布達湯屋取締規則施行區域内ニ限り同則第七條第三項第四項第八條第十條第十四條第十六條ヲ遵守シ尙願届ハ總テ所轄警察署ヲ經由スベシ

但新設ニ係ルモノハ四方三十間以内ノ地主家主ノ承認證ヲ添附スベシ

●兵庫縣令第四百十號(衛) 明治廿一年十二月廿七日

明治十七年(十二月)甲第一百十號布達醫師取締規則別紙ノ通更正來ル明治廿二年一月一日ヨリ施行ス

但從前ノ布達々等ニシテ本則ニ抵觸スルモノハ本則施行ノ日ヨリ廢止ス

(別紙)

醫師取締規則

第一條 醫師ハ健康ヲ保護スル爲ニ設ケタル此規則ヲ遵守スヘシ

第二條 醫師開業セント欲スルハ醫術開業免狀寫并履歷書ヲ添へ届出ツヘシ

第三條 醫師ハ何科醫某ト記載シタル標札ヲ門戸ニ掲出スヘシ

但自宅ニ於テ治療ヲナサ、ルモノハ此限りニアラス

第四條 醫師ハ處方錄ヲ製シ患者ノ住所氏名職業年齡病名處方及轉歸等ヲ詳記シ之ヲ保存スヘシ

第五條 患者ニ藥劑ヲ與フルトキハ其容器ニ用法患者ノ姓名自己ノ姓名又ハ病院名ヲ記載シ且内外用藥ハ辨識シ易キ標區別スヘシ

第六條 患者ニ處方書ヲ與フルハ其年月日ト患者ノ姓名年齡及自己ノ住所姓名ヲ記載シ之ニ捺印スヘシ

第七條 診察檢案ヲ爲サ、ル者ニ對シ藥劑處方書診斷書又ハ死亡證檢案證ヲ授與ス可ラス

第八條 施治ノ患者死亡スルハ及死后檢案ヲナシタルハ左ノ各項ヲ記載死亡證若シ

ハ檢案證ヲ製シ家人又ハ親戚ニ附與スヘシ

但自己ノ家族ハ他ノ開業醫ト連署スヘシ (廿三年縣令第十九號) 以テ但書ヲ加フ

一死者ノ姓名族籍年齡(男女ノ別)

一病名又ハ死亡ノ原因死亡月日時



第九條 醫師ハ別紙表式ニ照準毎年施治ノ患者員數ヲ記載シ翌年一月十日限リ郡區役所へ差出スヘシ

但診察出張所ニ係ルモノハ別ニ之ヲ製シ其地ノ郡區役所へ差出スヘシ

第十條 妊娠四ヶ月以上ニシテ死産セシモノヲ檢案シタルハ其男女種別ヲ示シタル死産證ヲ家人ニ附與スヘシ

第十一條 診察檢案上犯罪ニ源因スル疑ヒアルモノハ速ニ相當官吏へ通報スヘシ

第十二條 醫師一時休業セントスルハ及ヒ更ニ開業スルハ其旨届出ツヘシ

第十三條 管内甲町村ヨリ乙町村へ轉籍又ハ寄留シタルハ十日以内ニ其旨届出ツヘシ

但他管下へ轉籍又ハ寄留セントスル者ハ出發前其旨届出ツヘシ

第十四條 本縣下開業ノ醫師ト他管下開業ノ醫師トヲ問ハス診察出張所ヲ設置シタルハ十日以内ニ其旨届出ツヘシ

第十五條 診察出張所設置ノ届ヲナシタルモノハ何科醫某出張所ト記載シタル標札ヲ該門戸ニ掲出スヘシ

第十六條 飲食物及藥品ノ中毒ニ罹ル者アルハ其中毒品種用量症狀轉歸ヲ詳記シ中毒品ヲ添へ届出ツヘシ

但中毒品變敗ノ虞アルモノハ品質ノ變セサル様注意スヘシ

第十七條 公私立病院ハ第二條第三條第十二條第十三條第十四條第十五條ヲ除クノ外

本則ヲ遵守スヘシ

第十八條 左ノ各項ニ係ル者ハ違警罪ヲ以テ處分セラレハシ

第一 本則第四條第五條第六條第七條第八條第十條第十一條第十六條ニ違背シタル者

第二 本則第二條第三條第九條第十二條第十三條第十四條第十五條ニ違背シ官ノ督促ニ從ハサル者

施治患者届表式

施治患者届

病名	新患者		舊患者		通計
	男	女	男	女	
傳染性病					
發育及營養的病					
皮膚及筋肉病					
骨及關節病					

病名不詳	計		中毒症		外襲性病		寄生蟲病		泌尿及生殖器病		消化器病		呼吸器病		神經及五官病		血行器病		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	

右ハ明治何年一月ヨリ十二月ニ至ル施治ノ患者ニ候條此段御届申上候也  
何(郡區)何(町村)

年月日 何科醫 何 某印  
(戸長ノ奥印ヲ要ス)

郡區長宛

●兵庫縣令第四百一十一號(衛) 明治廿一年十二月廿七日  
明治十七年(七月)當縣甲第五十八號布達私立病院設置規則中左ノ一條ヲ追加ス  
第九條 診察出張所ヲ設置又ハ廢止スルハ其旨届出ツヘシ  
但本條診察出張所ヲ設置シタルハ私立何病院診察出張所ト記載シタル標札ヲ該  
門戸ニ掲出スヘシ

●兵庫縣令第四百十二號(衛) 明治廿一年十二月廿七日  
明治十三年第三十四號布告傳染病豫防規則ニ基キ其細則別紙之通相定來ル明治廿二年  
一月一日ヨリ施行ス  
但明治十五年十一月甲第三百二十八號及同十八年七月甲第五十三號布達ハ本文施行  
ノ日限り廢止ス

傳染病豫防細則

總則

第一條 醫師傳染病ヲ診斷シ傳染病豫防規則第二條ニ據リ通知スルハ左之各項ヲ記

載スヘシ

一病名

一發病死亡(死后檢案ノ片)並ニ診定ノ年月日時

一患死者ノ住所(寄留止宿ナレハ原籍ヲモ記載スヘシ)氏名職業年齢及男女ノ區別

一痘瘡ナレハ種痘ノ濟(初種再三種ヲ區分スヘシ)否

第二條 醫師施療ノ傳染病患者治癒死亡シタル片ハ前條第一項第三項ノ外治癒死亡ノ年月日(死亡ハ時ヲモ記入スヘシ)ヲ記載シ全條ノ手順ヲ以テ通知スヘシ

第三條 醫師施治ノ傳染病患者休藥若クハ轉醫シタル片ハ第一條ノ手順ヲ以テ通知スヘシ

第四條 傳染病者アル片ハ其病室ヲ異ニシ看病人ヲ定メ他ノ家人ヲ遠ケ且ツ止ヲ得サル要アル者ノ外他人ノ出入ヲ謝絶スヘシ

但シ掛官吏(衛生官吏警察官吏郡區町村吏檢疫委員等ヲ云フ以下同シ)ニ於テ謝絶ヲ要セスト認ムルモノハ此限ニ非ス

第五條 傳染病患者若クハ死屍ハ掛官吏ノ認可ヲ受クルニ非レハ他ニ移轉スルヲ許サズ

第六條 傳染病患死者ニ用キタル臥具衣服器具(舟車等モ含ム)及病室死室船室等ノ消

毒法ハ掛官吏ノ指揮ヲ受クヘシ

但患死者ニ用キサル物品ト雖モ掛官吏ニ於テ消毒ヲ要スル旨ヲ示シタル片ハ仍ホ本條ニ據ル

第七條 左ニ記載スルモノハ掛官吏ノ指揮ニ從ヒ身体被服ノ消毒ヲ了シタル後ニ非レハ他人ト交通スルヲ許サズ

一 患者治癒シタル者

一 看病人

一 死体若クハ排泄物汚穢物ニ接シタルモノ

一 避病院詰ノ醫師

右ノ外掛官吏ニ於テ消毒ヲ要用ト認ムル旨ノ告知ヲ得タルモノ

虎列刺病

第八條 虎列刺病ノ排泄物汚穢物(病毒附着ノ虞アル塵芥等モ含ム)ノ處置方ハ掛官吏ノ指揮ヲ受クヘシ

第九條 虎列刺病者ノ死屍取扱方運搬方埋葬手續等ハ總テ掛官吏ノ指揮ヲ受クヘシ  
腸窒扶私及赤痢病

第十條 腸窒扶私及赤痢病アル片ハ第八條ヲ適用シ尙死屍入棺ノ手續ハ掛官吏ノ指揮

ヲ受クヘシ

寶布埜里亞病

第十一條 寶布埜里亞病者ノ痰唾涕淚及之ニ汚染シタル物品ノ處置方及死屍入棺ノ手續ハ掛官吏ノ指揮ヲ受クヘシ

發疹室扶私病

第十二條 發疹室扶私病者ノ死屍ハ第九條ヲ適用スヘシ

痘 瘡 病

第十三條 痘瘡病者ノ死屍ハ第九條ヲ適用シ其落痂及病室ノ塵埃等ハ之ヲ取集置掛官吏ノ指揮ヲ受クヘシ

罰 則

第十四條 左ノ各項ニ該當スル者ハ違警罪ヲ以テ處分セラルヘシ

第一 本則第二條第三條第五條乃至第十三條ニ違犯シタルモノ

第二 本則第四條ニ違背シ掛官吏ノ指揮ニ從ハサルモノ

●兵庫縣訓令第十號(衛) 明治十一年一月廿一日

郡區役所

傳染病流行ノ兆アルルハ其性狀ノ劇否傳染ノ緩急及豫防法實施ノ景況並ニ地方病發生スルル其概況等速ニ縣廳第二部へ報告スヘシ

●兵庫縣訓令第十二號(衛) 明治十一年一月廿六日

神戸區長 菟原郡葺合村戶長 八部郡奧平野村外五ヶ村戶長

武庫菟原郡長 八部郡長 東尻池村外七ヶ村戶長

香港ニ於テ目下天然痘流行ノ兆有之豫防ノ爲種痘普及方第一號ヲ以テ告諭候ニ付所轄警察署長ト協議シ神戸區及神戸區接近ノ各村ニ於テ本年種痘期ニ相當スル者ハ此際普ク接種シ痘毒ノ慘害ニ罹ラサル様計ヘシ

郡區役所

●兵庫縣訓令第十九號(衛) 明治二十一年二月廿四日

醫師產婆製藥藥舖藥種商入齒々拔鍼灸術營業ノ者管内他郡區ヨリ轉居開業スル者アルルハ其族籍氏名ヲ記載直ニ元住地ノ郡區役所へ通報スヘシ(廿一年訓令第百十四號) (ヲ以テ本文ノ通改正)

●兵庫縣訓令第二十二號(衛) 明治十一年二月廿六日

郡長 戶長

本年一月以降神戸區外二郡内ニ於テ痘瘡ニ罹ル者既ニ十三名ノ多キニ及ヒ豫防ノ爲メ種痘普及方第二號ヲ以テ告諭候ニ付所轄警察署長ト協議シ本年種痘期ニ相當スル者ハ此際可成接種シ不慮ノ慘害ニ罹ラサル様取計フヘシ

●兵庫縣訓令第廿八號(衛) 明治十一年三月六日

郡區役所 戶長役場

明治十六年(七月)本縣乙第七十七號達乙號死亡調ハ廢止ス

(參照)

明治十六年乙第七十七號達ハ出產死亡調方ナリ

郡區役所

●兵庫縣訓令第五十二號(衛) 明治廿一年四月廿五日  
明治十八年(二月)本縣乙第三十四號達衛生上ニ關スル區町村費調ハ二十年度以降廢止ス

●兵庫縣訓令第五十三號(衛) 明治廿一年四月廿六日 郡區役所 戶長役場

明治二十年三月訓令第五十九號種痘事務取扱心得中左ノ通改正ス

第九條中一月七月十五日トアルヲ二月二十日ト改ム

第十條中一月七月三十一日トアルヲ三月十五日ト改ム

第一二號書式中(上下)半期ノ四字ヲ削ル

●兵庫縣訓令第六十四號(衛) 明治廿一年五月二日 郡區役所 戶長役場

傳染病患者申報ノ儀ハ醫師ノ通知書ヲ調査シ之ニ認印ヲ捺シ其儘進達スルモ苦シカラス

●兵庫縣訓令第七十三號(衛) 明治廿一年五月十五日 郡區役所

統計上取調ノ都合有之候條産婆開業ノ者并針灸術營業ノ者毎年十二月末現員左ノ通取

調整年一月廿日限り進達スヘシ

明治 年十二月三十日現員

産婆開業

何人

針術營業

同

灸点營業

同

●兵庫縣訓令第九十五號(衛) 明治廿一年六月十六日 郡區役所

賣藥行商鑑札記載方之義ハ本年(六月)内務省訓令第十三號之通り心得ヘシ

●兵庫縣訓令第一百十四號(衛) 明治二十一年八月十日 郡區役所

本年二月廿四日訓令第十九號産婆ノ下ヘ製藥藥舖ノ下ヘ藥種商齒扱ノ下ヘ鍼灸術ノ入

字ヲ挿入ス

●兵庫縣訓令第一百三十七號(衛) 明治廿一年十月廿四日 郡區役所 戶長役場

明治十九年(十月)訓令第二十二號死亡者年齢區別表式別紙之通更正ス

死亡者年齢區別表

(明治何年)

男類	第一類	第二類	第三類	第四類	第五類	第六類	第七類	第八類	第九類	第十類	第十一類	第十二類	第七類内
----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------

年 齡	年 年		三 年	四 年	五 年	六 年	年 齡 不 詳	合 計
	男	女						
傳染病								
發育病								
皮膚病								
關節病								
血行器病								
神經及五官病								
呼吸器病								
消化器病								
泌尿及生殖器病								
外變症								
中毒原因不詳								
合計								
肺病								

一本表ハ每郡一表ニ調製スルモノトス

一死亡者ハ其埋火葬認許證ヲ附與シタル土地ニ於テ其數ヲ掲載スヘシ  
 一死亡者病類ノ細目ハ明治十六年七月衛生課ノ通報ニヨルヘシ  
 一死体ノ乘兒ハ欄外ニ其男女及推測ノ年齢ヲ記載スヘシ  
 一二年ノ項ニハ滿一年マテ二年ノ項ニハ一年一ヶ月以上滿二年マテノ者ヲ記入スヘシ

以下諸項皆全シ

- 兵庫縣訓令第四百二十二號(衛) 明治廿一年十一月廿二日 郡區役所 戶長役場 每年春秋兩度無代價ヲ以テ牛痘苗配付致來候處自今廢止ス
- 兵庫縣訓令第五百十六號(衛) 明治廿一年十二月廿七日 郡區役所 本年(本月)縣令第四百四十號醫師取締規則第九條ニヨリ公私立病院及醫師ヨリ差出シタル患者表ハ每郡區一表ニ調製シ施治醫ノ員數ヲ附記シ同月中縣廳ヘ進達スヘシ 但明治十七年十二月乙第二百十五號達ハ消滅ノ義ト心得ヘシ
- 兵庫縣告示第三十七號(學) 明治廿一年三月十七日 本月三十一日限り神戸醫學校及神戸藥學校ヲ廢シ其跡ヘ神戸商業學校ヲ移ス
- 兵庫縣告示第四十號(衛) 明治廿一年三月廿三日

明治十九年(五月)本縣戊第五十七號告示製氷及氷雪貯藏心得第一項へ左ノ但書ヲ追加ス

但試驗料トシテ拾錢乃至三拾錢ヲ徴收ス

●兵庫縣告示第八十號(衛) 明治廿一年六月八日

公立病院 開業醫  
藥 舖 藥種商

藥用阿片賣買特許藥舖ヲ免許及廢業スル者ノ左ノ如シ

赤穂郡加里屋町四百五十八番地

免許 平民 平田 寬治

赤穂郡加里屋町四百五十八番地

廢業 平民 平田 夫平

●兵庫縣告示第一號(衛) 明治廿一年一月廿六日

神戸區 菟原郡 八部郡(神戸區接近村々)

香港ニ於テ目下天然痘流行ノ兆有之該港ヨリ入港ノ船舶勘ナカラサルニヨリ何時病毒ノ侵入スルヤモ難計ニ付明治十八年第三十四號布告種痘規則第一條第二條期限内ノ者ハ此際普ク接種シ痘毒ノ慘害ニ懼ラサル様豫防スヘシ

●兵庫縣告示第二號(衛) 明治廿一年二月廿六日

各 郡

本年一月以降神戸區及ヒ菟原郡明石郡等ニ於テ痘瘡ニ罹ル者既ニ十三名ノ多キニ及ビ何時各郡へ傳染蔓延スル哉モ難計ニ付明治十八年第三十四號布告種痘規則第一條第二條期限内ノ者ハ此際可成接種シ痘毒ノ慘害ニ懼ラサル様豫防スヘシ

社 寺

(非現行)

●兵庫縣令第六十八號(二) 明治二十一年五月十二日

縣社以下神社祭典并ニ神佛開扉又ハ佛事執行等ノ節ハ所轄警察署若クハ分署へ届出ツ  
ヘシ(廿四年縣令第七號ヲ以テ本文ノ通訂正)

(明治廿四年十月縣令第九十二號ヲ以テ廢止)

●兵庫縣令第八十二號(一) 明治廿一年六月八日

明治十七年<sup>三月</sup>甲第二十四號布達中郡區役所トアルヲ警察署若クハ分署ト改ム

郡區役所

●兵庫縣訓令第二百一十一號(庶) 明治二十一年八月廿八日

洞官洞掌住職等名簿及身上異動届書每一箇月分取纏メ差出方ノ儀ニ付明治十六年九月  
本縣乙第百一十一號ヲ以テ相達置候次第モ有之候處來ル九月以降本廳へ進達ニ不及候條  
其應ニ於テ名簿整理シ置クヘシ

明治廿五年六月訓令第六十一號ヲ以テ廢止

●兵庫縣告示第七十二號(庶) 明治廿一年六月二日

左ノ事項自今出願ニ及ハス

社 寺



一社寺(官國幣社ヲ除ク)建物其他修繕(従前ノ制式摸樣變更ニ係ルモノヲ除ク)願ノ事  
一梵鐘鑄造願ノ事

戸 籍

●兵庫縣令第九十一號(庶) 明治二十一年六月廿六日

明治十六年當縣甲第十二號同三十一號布達及ヒ同二十年當縣々令第六十六號同第百七十九號ヲ廢止ス

(參照)

十六年甲第十二號ハ嗣子相續人等更定願全廿年縣令百六十六號ハ全件届方全三十一號ハ全件追加全百七十九號ハ全件加除ナリ

郡 長

●兵庫縣訓令第十七號(庶) 明治廿一年二月廿二日

明治十九年(十月)内務省令第二十二號戸籍取扱手續第七條ニ據リ戸籍簿ノ檢査ヲ了リタル片ハ冊尾毎ニ左ノ奥書調印ヲ爲スヘシ

右檢査候也

何郡長氏名印

年 月 日

●兵庫縣訓令第三十九號(庶) 明治二十一年四月五日 三原郡役所 同戸長役場

明治十九年(十月)内務省令第二十二號戸籍取扱手續ニ據リ戸籍簿(副本共)調製ニ着手スヘシ

(非現行)

●兵庫縣訓令第百二十九號(庶) 明治廿一年十一月二日

郡區役所

戶籍表左之通改正ス各表共翌年一月三十一日限り差出スヘシ

(明治廿三年訓令第八十四號ヲ以テ廢止)

但明治十九年(五月)本縣乙第九十九號達及全二十年(十一月)本縣訓令第二百十五號ハ廢止ス

(明治廿一年訓令第五百十二號ヲ以テ第十表追加)

一諸表ハ美濃紙ヲ以テ調製シ各表毎ニ紙頁ヲ別ツヘシ

一諸表樣式ニハ横線ノミ劃スト雖モ調製ノ表ニハ縦線ヲ加フヘシ

一數位ハ万位ニ、ヲ付スヘシ

(明治廿二年訓令第三百二十九號ヲ以テ本表ノ通更正)

第一表

戶口表		郡市役所名	
郡市名	明治何年十二月卅一日現在		現住戶數
	本	籍	
	男	女	合計

再掲町村	合計

一現住戶數ノ欄ニハ本籍ナル者ト本籍ナラサル者ト又戶主タル者ト戶主タラサル者トヲ問ハス渾テ其地ニ現住シテ一世帯ヲ爲ス竈數ヲ記入スヘシ

但官舎社寺學校病院製造所等ノ構内ニ居住スルモ別ニ一竈ヲナス者ハ亦一戶トシテ之ヲ記入スヘシ

一再掲町村ノ欄ニハ本籍人口一万以上アル町村及本籍人ヲ本トシ次表ノ出ヲ除キ入ヲ加ヘテ現住人口凡一万以上アル地ノ本籍人並ニ現住戶數ヲ掲クヘシ

(明治廿二年訓令第三百二十九號ヲ以テ本表通更正)

第二表

人口出入表		郡市役所名	
郡市名	明治何年十二月卅一日現在		入
	出	入	
外國行	他府縣出寄留	陸海軍在營艦者	他府縣入寄留
	他郡市出寄留	囚人及失踪	他郡市入寄留



同	同	同	同	同	同
十一年	十二年	十三年	十四年	十五年	十六年
生	生	生	生	生	生

生年不詳  
合計

一本表ハ本籍ノ生年ヲ調査スルモノニシテ其調査ノ年ヲ首トシ以上年次ヲ逐ヒ明治慶應元治文久萬延安政嘉永弘化天保文政文化享和寛政天明安永ニ溯リ年號何年生ト列記シ其生レタル年ニ從ヒ記入スヘシ例ハ明治二十一年生レノ下欄ニハ同年一月一日ヨリ十二月三十一日マテニ出生シタル者ヲ記入スルカ如シ但戸籍編製以前逃亡失踪シ其生年詳ナラサル者アルトキハ生年不詳ノ項ニ記入スヘシ

第五表

本籍出產死亡婚姻表

(明治何年)

郡區名

類	別	生		死	結
		公	私		
		生	計	亡	婚
		男	女	男	女
		合	計	年未配偶數	

附

生産者

明治廿年  
同十九年  
同十八年  
同十七年  
同十六年  
以前

表

棄兒  
死亡屆  
本籍不詳者死亡  
産

一本表ハ一箇年ノ總數ヲ記入スルノ趣意ナリ

一生産者ノ數ヲ舉グルニハ例ハ明治廿一年ニ在テハ先ツ該年ノ登記目録ニ就キ一月一日ヨリ十二月卅一日マテニ出產シタル數ヲ算出シ之ヲ第一數トシ次ニ明治廿二年ノ登記目録ニ就キ廿一年十二月下旬ニ出產シテ其屆出期限二十二年一月上旬ニ係リテ届出タル數ヲ算出シ之ヲ第二數トシ  
(此第二數ハ明治二十二年ノ出產表ニハ記入スヘカラス) 此第一第二ノ數ヲ合シテ記入スヘシ

一死亡者ノ數ヲ舉グルハ生産者ノ數ヲ舉グル方法ト同シ  
一出産届出以前ニ死亡シタル者ノ數ハ前項ノ方法ニ據リ生産死亡ノ兩項ニ各記入スルハ勿論トス

一 結婚離婚ノ數ハ本年中結婚離婚ヲ届出タル件數即組數ヲ記シ且結婚ハ婦又ハ婿ヲ迎ヘタル方離婚ハ之ヲ出シタル方ニ於テ記入スヘシ

一 年末配偶ノ欄ニハ本年十二月卅一日調ノ戸籍ニ現ニ登記シアル夫婦ノ組數ヲ記入スヘシ

一 附屬表生産届洩者ハ例ハ明治廿一年ノ調査ニ在テハ該年ノ登記目錄ニ就キ廿年以前ニ出產シテ廿一年中ニ届出タル者ノ數ヲ廿年生ヨリ十六年以前生マテノ五項ニ別チ記スヘシ爾後此例ニ依リ毎年繰上クルモノトス

一 同表棄兒ハ本年中ニ届出タル者ニ就キ本年中ノ生出ト推測シタル者ハ本年生ノ項ニ前年生出ト推測シタル者ハ明治廿年以前生ノ項ニ區別シテ記入スヘシ

一 同表死亡届洩者ハ生産届洩者ヲ舉クル如ク五項ニ區別スルニ及ハス總テ一項ニ合記スヘシ

一 同表本籍不詳者ハ本年中行旅死亡人取扱規則ニ依リ取扱ヒタル數ヲ記入スヘシ但調査ノ際揭示中ニ係ル者ハ之ヲ除キ本籍不詳ト決シタル年ノ數ニ記入スヘシ

一 同表死産ハ妊娠後四ヶ月以上ニシテ死胎分娩シタル者ヲ云フ其數ハ素ヨリ登記目錄ニ記載セサルモノナルヲ以テ人民各自ノ届書ニ據リ死産ノ月日ニ拘ハラズ本年一月一日ヨリ十二月三十一日マテニ届出タル數ヲ記入スヘシ但死亡數ハ算入スヘカラ

第六表

市街現住人出產死亡表

(明治何年)

郡區役所名

市街名	生			死		
	公	私	合	棄兒	死産	有籍者
	計	計	計	計	計	計
男女						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						
〃						

一本表市街ハ區ノ名稱アルモノ及人口凡二万五千以上ノ地ヲ云

一本表ハ本籍人ノ其市街ヲ出テ住シテ出生死亡シタル者ヲ除キ他ヨリ其市街ニ來リ住シテ出生死亡シタル者ヲ加ヘテ調査スヘシ

一 生産死産死亡ノ記入方ハ前表ノ説明ニ同シ但本年ニ係ル數ノミヲ記入シ前年以前ノ届洩ニ係ル者ハ記入ニ及ハス

一 棄兒ハ本年出產セシト認ムル者ノ數ヲ掲ケ前年以前ニ出產セシト認ムル者ノ數ハ記入スヘカラス

第七表

類別	就除籍送入籍及失踪表		〔本籍〕		〔明治何年〕		郡區名	計
	男	女	男	女	合			
無籍者								
外國ヨリ入籍者								
失籍者								
重籍者								
外國へ送籍者								
他府縣ヨリ送入籍者								
他府縣ヨリ入籍者								
失踪者								

一 無籍者就籍ノ項ニハ明治五年戸籍編製ノ時ヨリ無籍ニシテ本年ニ至リ始テ籍ニ就キタル者ヲ記入スヘシ

一 外國ヨリ入籍者ノ項ニハ婚姻ニ依リ外國人ノ入籍シタル者ヲ記入スヘシ

一 失踪者除籍ノ項ニハ本年中滿八十歳ニ至リ除籍シタル者及八十歳以上ニシテ失踪シ本年中滿三十六ヶ月ニ至リ除籍シタル者ヲ記入スヘシ

一 重籍者除籍ノ項ニハ一人ニシテ兩所ニ本籍ヲ有スルニヨリ一方ヲ削除シタル者ヲ記入スヘシ

一 外國へ送籍者ノ項ニハ婚姻ニ依リ送籍シタル者ヲ記入スヘシ

一 失踪ノ項ニハ本年一月一日ヨリ十二月三十一日迄ニ失踪逃亡チ届出タルモノヲ記入スヘシ但復歸又ハ所在分明ノ届出アリタル者ハ此限ニアラス

第八表

町村戸數人口表		明治何年十二月三十一日現在		何郡區名	
町村名	本籍人員計	現住人員計		總戸數	現住戸數
		男	女		
合計					
村					
町					

一 町村名ノ欄ニハ無人戸ノ町村ヲモ記載スヘシ

一 本籍人員ハ他町村(戸長役場管内外トモ)へ出寄留及失踪ノ者ヲモ合算シ同入寄留ノ者ハ算入セス

一 現住人員ハ全上ヨリ入寄留ノ者ヲモ合算シ出寄留及失踪ノ者ハ算入セス

一 總戸數ハ其居住人ノ有無ヲ問ハス戸籍簿ニ番號ヲ記入セル家屋ノ數ヲ云フ

一 現住戸數ハ第一表ノ説明ニ全シ

第九表

耕作及捕魚採藻業戸數表

(明治何年十二月三十一日現在)

郡區役所名

郡區名	耕作		業		捕業採藻業	
	自耕	小作	業兼業	業兼業	耕作兼業	合計
	專業兼業	捕魚採藻兼業	專業兼業	捕魚採藻兼業	自作小作	合計
總計						

一本表ハ明治十九年ヲ以テ第一回トシ爾後六年目毎ニ十二月三十一日ノ現數ヲ調査スル者トス

一本表ハ華族士族平民タルニ拘ラス十二月三十一日ニ現ニ耕作業又ハ捕魚採藻業ニ従事スル者ノ戸數ヲ調査スルモノトス但戸數ノ記入方ハ第八表ニ同シ

一本表ハ戸内各人ノ職業ニ拘ラス該戸ノ首長タル者(戸主タル者ト戸主タラサル者トヲ問ハス)ノ營ム職業ニ依リ其實ヲ採集スルモノトス

一該戸ノ首長タル者事故アリテ自ラ家業ヲ營マスト雖モ其家ニ於テ之ニ代ル者アルハ尙ホ本表ノ戸數ニ算入スヘシ

一耕作業ヲ專業トシテ自作ト小作トヲ兼ル者又之ヲ兼業トシテ自作ト小作トヲ兼ル者ハ自作小作ノ内重ナル方ニ記入スヘシ

一捕魚採藻業者ニシテ耕作業ノ自作ト小作トヲ兼ル者亦前項ニ同シ

一專業ノ欄ニハ耕作又ハ捕魚採藻ノ業ヲ一途ニ營ム者ヲ記入スヘシ

一耕作業中兼業ノ欄ニハ耕作業ヲ本トスルト否トヲ問ハス總テ該業ト他ノ業(捕魚採藻業ヲ除ク)トヲ併セ營ム者ヲ記入スヘシ

一耕作業中捕魚採藻兼業ノ欄ニハ耕作業ヲ本トシテ捕魚採藻業ヲ兼子營ム者ヲ記入スヘシ

一捕魚採藻業中兼業ノ欄ニハ捕魚採藻業ヲ本トスルト否トヲ問ハス總テ該業ト他ノ業(耕作業ヲ除ク)トヲ併セ營ム者ヲ記入スヘシ

一捕魚採藻業中耕作兼業ノ欄ニハ捕魚採藻業ヲ本トシテ耕作業ヲ兼子營ム者ヲ記入スヘシ

(非現行)

●兵庫縣訓令第五百五十二號(庶) 明治廿一年十二月十三日 郡區役所

本年(十一月)當縣訓令第三百二十九號戸籍表ハ左ノ一表ヲ追加ス

第十表

(明治廿三年訓令第八十四號ヲ以テ廢止)

郡區送入籍表

(明治何年)

郡區名

郡區	送入籍人員		合計	送籍人員	
	男	女		入籍人員	入籍人員
神戶區					
八尾郡					
武庫郡					
菟原郡					
川邊郡					
有馬郡					
明石郡					
美濃郡					
加東郡					
多可郡					
加西郡					
加古郡					
印南郡					
飾東郡					
飾西郡					
神東郡					

郡區	男	女	合計	送籍人員	入籍人員
三原郡					
津名郡					
多紀郡					
氷上郡					
二方郡					
七美郡					
朝來郡					
養父郡					
氣多郡					
出石郡					
美含郡					
城崎郡					
宍粟郡					
佐用郡					
赤穂郡					
揖西郡					
揖東郡					
播磨西郡					
合計					

●兵庫縣訓令第五百五十五號(庶) 明廿一年十二月廿一日 郡區役所 戶長役場  
 明治十九年(十月)當縣訓令第拾五號行旅死亡人埋葬表自今差出スニ及ハス



郡區長委任

●兵庫縣訓令第七十一號(庶) 明治廿一年五月十二日

郡區長

明治二十年(六月)本縣訓令第百六十三號委任事項中第七、第八、第九、第十一、第六十六、五項及第四十二項中及茶業ノ三字ヲ削除シ第十三項中願ノ字ヲ屆ニ改メ第四十九第五十第五十一ノ三項ニ「郡部二等以下ノ里道ヲ除ク第五十二項ニ郡部里道ニ屬スルモノヲ除ク」ノ但書ヲ追加シ更ニ左ノ三項ヲ委任ス

第八十一 公園地枯木倒木拂下ノ事

第八十二 式内神社國史現在神社枯損木拂下ノ事

第八十三 産婆開止業ノ事

(參照)

明治廿二年訓令第七十一號委任條件ニ依リ消滅

郡區長

●兵庫縣訓令第七十八號(勸) 明治廿一年五月廿五日

明治廿年(六月)當縣訓令第百六十三號委任條件へ左ノ二項ヲ追加ス

八十四 鳥獸獵免狀下付ノ事

八十五 臨時市場願(明治廿一年當縣令第二十號ノ事項ヲ除ク)許否ノ事

郡區長委任

五百七

(參照)

明治廿二年訓令第七十號委任條件ニ依リ消滅

●兵庫縣訓令第九十二號(庶) 明治廿一年六月十二日

郡區長

明治廿年(六月)當縣訓令第六十三號ニ左ノ事項追加ス

但明治廿一年(五月)當縣訓令第七十一號第七十八號ヲ以テ加除セシ項目順次繰上ク

ヘシ

八十一 簡易小學校夏季休業分休ノ事

(明治廿二年訓令第七十號全七十一號ニ依リ消滅)

(非現行)

●兵庫縣告示第六十號(庶) 明治二十一年五月十二日

明治廿年(六月)本縣告示第三百三十一號郡區長ニ委任事項中第七第八第九第十第十一第六十六ノ五項及第四十二項中及茶葉ノ三字ヲ削除シ第七八ノ二項ハ爾後警察ノ主管トナシ第十三項中願ノ字ヲ屆ニ改メ第四十九第五十第五十一ノ三項ヲ「郡部二等以下ノ里道ヲ除ク第五十二項ニ郡部里道ニ屬スルモノヲ除ク」ノ但書ヲ追加シ更ニ左ノ三項ヲ委任ス

第八十一 公園地枯木倒木拂下ノ事

第八十二 式内神社國史現在在神社枯損木拂下ノ事

第八十三 産婆開止業ノ事

(明治廿二年告示第七十九號全八十號ニ依リ消滅)

●兵庫縣告示第六十三號(勸) 明治廿一年五月廿五日

明治廿年(六月)當縣告示第三百三十一號郡區長委任條件ニ左ノ一項ヲ追加ス

八十四項 鳥獸獵免狀下付ノ事

(明治廿二年告示第七十九號八十號ニ依リ消滅)

●兵庫縣告示第八十二號(庶) 明治廿一年六月十二日

明治廿年(六月)當縣告示第三百三十一號ニ左ノ事項ヲ追加ス

但明治廿一年(五月)當縣告示第六十號第六十三號ヲ以テ加除セシ項目順次繰上ク

八十 臨時市場願(明治廿一年當縣令第二十號ノ事項ヲ除ク)許否ノ事

八十一 簡易小學校夏季休業分休ノ事

(明治廿二年告示第七十九號全八十號ニ依リ消滅)

雜事

●兵庫縣訓令第三十一號(庶) 明治二十一年三月十五日

郡區役所 戸長役場

十九年三月乙第六十號達別冊統計樣式中左記ノ通更正ス

一第二四七府縣會ノ議員及撰被撰舉權ヲ有スル人員、首對最下三月一日現在トアルヲ

十二月三十一日現在ト改メ該表式欄内第六欄以下(郡區)ノ二字ヲ削除ス

一第二〇六小學ノ卒業生徒、第二〇七小學ノ中途退學生徒、欄内公私立ノ部、初等、中等トアルヲ簡易、尋常ト改ム

●兵庫縣訓令第三十五號(外) 明治廿一年三月廿三日 沿海郡區役所 戸長役場

スクーナト形米國船子レイド號(二十二噸積船長シヨソソ氏)ガジユウ島(マリアナ群島)サン、ルイド、アブラ港碇泊中客月一日夜船長上陸中運轉士及水夫四名乗込タル儘出帆行衛不知相成候趣ニ付テハ同船所在見聞候者有之候ハ、速ニ其旨當廳へ届出シ

●兵庫縣訓令第四十二號(庶) 明治廿一年四月十四日 郡區役所 戸長役場

明治十八年(二月)本縣乙第十號達行旅病人救護及行旅死亡人取扱手續第八條第四項中及ヒ之ニ對スル各自ノ受領書トアル十三字自今削除ス

●兵庫縣訓令第四十五號(庶) 明治廿一年四月十九日 郡區役所 戶長役場  
 十九年三月乙第六十號達別冊統計樣式中左記ノ通更正ス  
 一第一九七號藥舖及賣藥欄內第四欄第二〇郡區ノ戶數及建物、欄內第七八九欄(郡區)ノ二字ヲ刪除ス

●兵庫縣訓令第六十六號(勸) 明治廿一年五月六日 郡區長 戶長  
 三等郵便局長採用ニ關シ遞信管理局長ヨリ照會又ハ依托アリタルトキハ其求メニ應シ便宜處辨スヘシ

●兵庫縣訓令第六十七號(二) 明治廿一年五月十日 區 戶長  
 明治廿年(一月)本縣訓令第三十二號ハ廢止ス

(參照)

明治廿年訓令第三十二號ハ人力車取締規則第三條ノ身分證明方ナリ

●兵庫縣訓令第七十六號(二) 明治廿一年五月十九日 郡長 戶長  
 管内人民ニシテ埼玉縣ニ於テ雇人請宿營業者ノ紹介ヲ經雇人タラントスルモノハ原籍又ハ現住地戶長ノ身元證明書ヲ要スル規定ニ候條自然其旨請求シタルトキハ證明書ヲ下付スヘシ

●兵庫縣訓令第七十九號(庶) 明治廿一年五月廿五日 郡區役所 戶長役場  
 十九年(三月)乙第六十號達別冊統計樣式中左記ノ通更正ス

一第二〇二號學人ノ年齡、第二〇七小學ノ中途退學生徒、第二〇八中學及諸學校欄內(郡區)ノ二字ヲ刪除ス

●兵庫縣訓令第八十二號(勸) 明治廿一年五月三十日 郡區長 戶長  
 郵便受取所取扱人郵便貯金預所取扱人ノ採用ニ關シ郡區長戶長ハ遞信管理局長ノ照會又ハ依托ニ應シ便宜處辨スヘシ

●兵庫縣訓令第九十四號(庶) 明治廿一年六月十三日 郡役所 戶長役場  
 各町村戶長ハ今般更ニ左ノ雛形ニ依印鑑ヲ所轄郡役所へ差出スヘク自今新任ノ者ハ其受書ト共ニ又改印シタル節ハ其屆書ト同時ニ雛形ノ印鑑ヲ添ヘテ差出シ郡役所ニ於テハ該印鑑簿ヲ調製シ之ヲ存置スヘシ  
 但明治十二年九月乙第二百二十五號達ハ自今廢止ス

雛形 用紙西ノ内 豎四寸五分 横一寸

何郡何村	印鑑
何郡何村	印
外何ヶ村	
何郡何村住	
(土族)(平民)	
戶長 何 某	
年月日	